

市町村名		石垣市					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-① 観光誘客プロモーション事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-イ		
	担当部課名	企画部 観光文化課		事業実施（予定）年度	平成24～令和3年度	市場特性に対応した誘客活動の展開	
				沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容							
年間を通じた観光誘客を図るため、国際定期便の安定や冬季における誘客促進のためのプロモーションを行い、観光入域客の年間平準化に取り組むほか、メディア媒体と連携して全国へ向けた観光情報の発信を行う。							
効果発現年度							
■当年度 □後年度（ 年度）							
実施方法							
□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	19,670	26,710	7,410	15,530	7,127
		(b) 予算現額	19,670	25,701	17,780	12,249	5,320
		(c) 増減額 (b-a)	0	▲ 1,009	10,370	▲ 3,281	▲ 1,807
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計 (b+d)		19,670	25,701	17,780	12,249	5,320
	B. 執行済額		19,105	24,096	16,225	11,911	4,599
	うち交付金充当額		15,284	19,276	12,979	9,528	3,678
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率 (%) (B/A)		97.1%	93.8%	91.3%	97.2%	86.4%
予算の状況の説明		補正については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当初計画していた人材育成に係る海外でのプロモーション活動の見送りに伴う事業費減額である。 不用については、委託業務の精算などによるものである。					
活動目標（指標）及び達成状況	R2活動目標（指標）		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	観光誘客PR業務の実施	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
			目標	()	()	()	
		実績					
達成状況説明		・ツーリズムEXPOジャパン2020において、PRブースの出展及び星空観光シンポジウムを開催し、南十字星等の石垣島の冬の星空をPRした。 ・テレビ番組やCM等の撮影の受け入れを行い、映像や写真素材を通して石垣島の魅力をアピールした。					
成果目標（指標）及び進捗状況	R2成果目標（指標）		基準値（年度）	H30年度	R1年度	R2年度	目標値（年度）
	PRブース来場者数：1,200人以上	目標	()	(1,700人)	(1,150人)	(1,200人)	()
		実績		600人	600人	1,110人	
	撮影ロケ地誘致件数：2件以上	目標	()	()	()	(2件)	()
		実績				24件	
進捗状況説明		・PRブースへの来場者に関しては新型コロナウイルス感染症防止のため入場制限があったものの、PRブースに用意した観光パンフレット1,000部を全て配布したほか、イベント内にて開催した星空観光シンポジウムには、110人の聴講者が訪れた。 ・撮影ロケ地誘致に関しては、これまで目標値として設定していた映画ロケ以外にも、テレビ番組やWEB配信映像、MV等のDVD、宣伝用スチール撮影など、幅広い誘致に取り組んだ結果、合計24件の受け入れに至ることができた。					

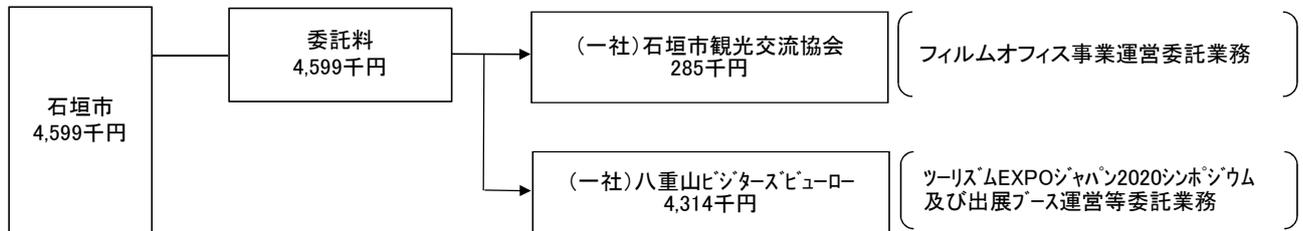
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を行いながら来場人数を制限したイベントであったこともあり、重的な成果を上げることは難しかったが、PRブースの出展だけでなくシンポジウムを開催したことによって、星空観光に関心の高い来場者に向けて確実なPRを行うことができた。 ・ロケの受け入れに関しては感染症対策を行いながら実施できたものの、撮影誘致に係るプロモーションが厳しくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、星空等のPRポイントを明確にしたプロモーション活動を展開する。 ・ホームページ等において、観光客に向けたロケ作品の情報発信を強化する。

今後の取り組み方針

・観光協会やYVB等の民間団体と連携しながら、低迷した観光需要の回復を目指しプロモーション活動を行う。
 ・引き続き徹底した感染症対策を実施しながらロケの受け入れを行う。プロモーションに関しては、オンラインによるPRイベントへの参加等を検討する。また、撮影の受け入れに関する情報だけでなく、石垣島でロケが行われた番組等の紹介を行う等、ホームページ等を活用した情報発信を行う。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,599	4,599	3,678	921	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先については、企業組織、実績、知識等を勘察した上で、地方自治法施行令及び石垣市財務規則の規程に基づき、随意契約を締結し、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

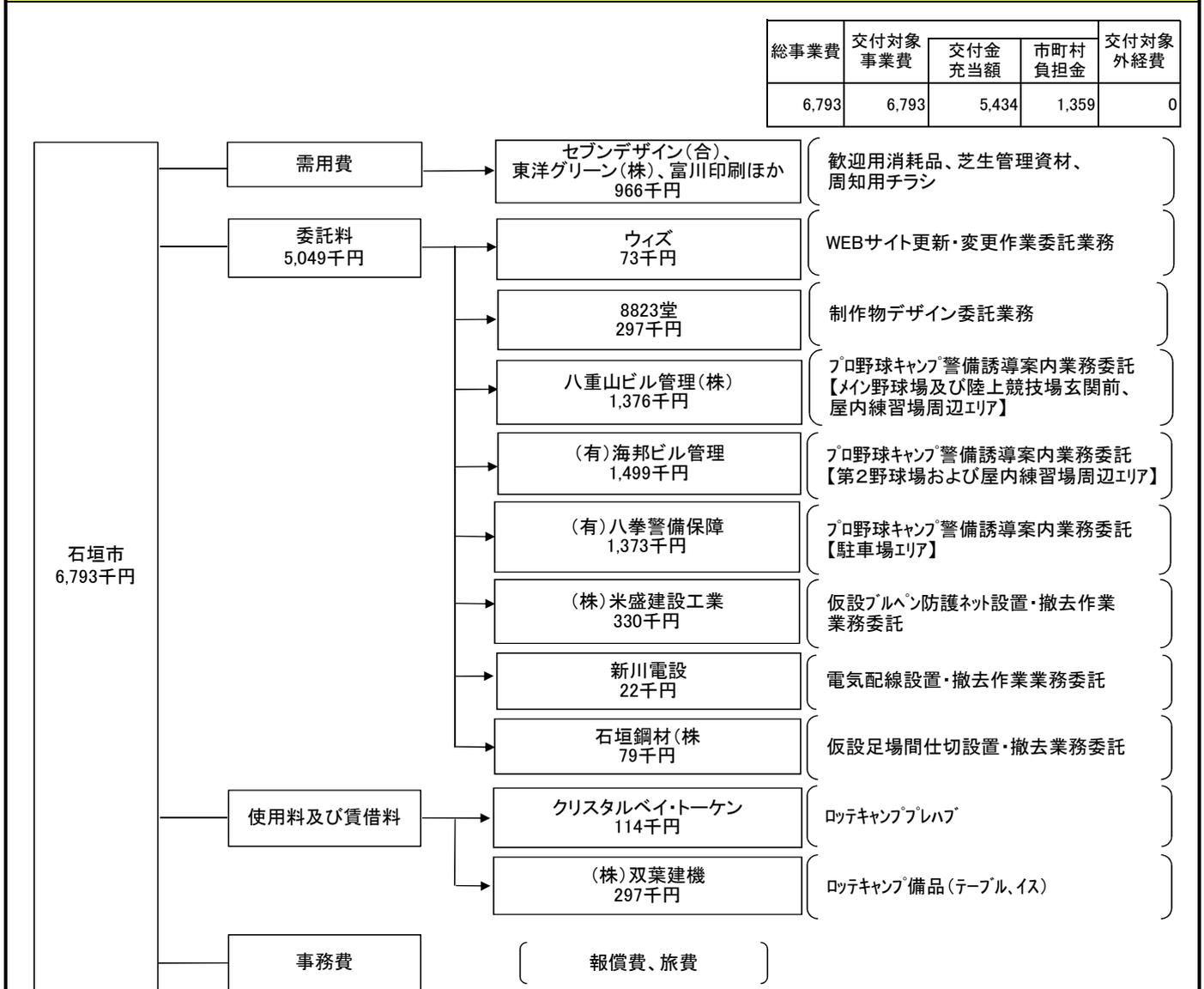
市町村名		石垣市					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-② スポーツ!ウェルカム!石垣島!事業		沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-2-(1)-イ		
	担当部課名	企画部 スポーツ交流課		事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖繩振興基本方針該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成
						Ⅲ-1-(1)	
事業内容							
スポーツツーリズムを推進し離島振興につなげるため、プロスポーツキャンプや体育系教育機関の合宿等の誘致活動を行う。また、選手等の快適な環境づくりや歓迎装飾、キャンプとタイアップしたイベント等により受入環境を整備する。							
効果発現年度							
<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法							
<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	21,418	14,532	11,652	10,255	
		(b) 予算現額	21,418	22,956	11,652	10,255	
		(c) 増減額(b-a)	0	8,424	0	0	
		(d) 繰越額	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)		21,418	22,956	11,652	10,255	
	B. 執行済額		13,075	19,721	10,663	6,793	
	うち交付金充当額		10,459	15,777	8,529	5,434	
	次年度繰越額		0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		61.0%	85.9%	91.5%	66.2%	
予算の状況の説明		不用については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるプロ野球千葉ロッテマリーンズのキャンプ受入の規模縮小等に伴う各経費の執行残等である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	スポーツ合宿の誘致活動	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
	スポーツ合宿受入環境の整備	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
達成状況説明		・石垣島でのスポーツイベントや合宿(キャンプ)等の誘致を図るため、プロ野球チームや首都圏の大学等に対するPR活動に取り組んだ。 ・プロ野球チーム及びプロサッカーチームのキャンプ等の受入環境の整備並びにコロナ禍におけるキャンプや合宿を安全・安心に実施できるよう、石垣市独自の受入ガイドラインの策定などに取り組んだ。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	プロスポーツキャンプ及びスポーツクラブのキャンプ実施団体数 8団体以上	目標	()	(5団体以上)	(5団体以上)	(8団体以上)	()
		実績		8団体	7団体	2団体	
	プロ野球キャンプ期間中を通してキャンプ会場に来場した観客数 20,000人以上	目標	()	(25,000人)	(27,000人)	(20,000人)	()
		実績		17,750人	24,700人	-	
	進捗状況説明		・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、年間を通して予定されていたスポーツ関連の合宿やイベントが軒並み中止となったが、個人や少人数による自主トレーニングなどはほぼ予定通り実施されたほか、首都圏等への積極的な広報活動ができない状況にあったが、プロ野球に関してはキャンプ継続のため、球団に赴き関係者との協議を行った。 ・Jリーグの横浜Fマリノス及びプロ野球の千葉ロッテマリーンズのキャンプは予定通り実施されたが、無観客での実施となったため、観客の来場は無かったが、のぼりや横断幕の設置等を行い、歓迎ムードの創出を図った。				

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、いかにして安全・安心にスポーツ団体あるいはイベントを誘致・開催するか、また、積極的に行なえない状況にある誘致活動をどのような形で推進するか、検討していく必要がある。 ・キャンプに関しては、感染症防止策を講じた上で実施するとともに、石垣島がキャンプ地であることのPRを継続して取り組む必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・策定した合宿受入ガイドラインについて、事前のPCR検査やワクチン接種の証明、期間中の体調や行動の把握など合宿を実施する各団体との細部の調整が必要となるが、それらの点をクリアすることで、事業活動を正常化できると考えられる。 ・徹底した感染症防止策に取り組むとともに、現状、大学・高校等の教育団体に適用している施設利用料の減免の適用範囲を広げるといったサポートの充実や、宿泊費の補助といった積極的なサポートも検討し、環境の良さだけでなく経済面でも石垣島で合宿を行う「旨み」を創出していく必要があると考えられる。

今後の取り組み方針

・誘致活動に関しては、ウィズ、アフターコロナを見据え、引き続き、感染症対策を踏まえつつ、新規団体等の誘致に取り組んでいくこととする。
 ・一定規模のスポーツイベントについては、主催者側や必要に応じて県等とも調整を図りつつ、新型コロナウイルス感染症防止に関する市独自のスポーツ合宿等の受入ガイドライン等に則り、適切かつ柔軟な受入体制の構築に取り組むこととする。併せて、キャンプや合宿で使用される施設の利用、宿泊費等にかかる支援策等についての検討も行うこととする。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れの点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先については、企業組織、実績、知識等を勘案した上で、地方自治法施行令及び石垣市財務規則の規程に基づき、随意契約を締結したほか、警備業務委託では指名競争入札により選定しており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③ 観光地受入基盤強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(4)-ア		
	企画部 観光文化課		事業実施（予定）年度 平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所		
担当部署名					III-1-(1)		
事業内容	観光誘客を図るため、観光コンテンツとしての星空資源広報の実施、南の島の星まつりなど着地型イベントへの補助、クルーズ船の受入業務を行うほか、観光の現状や課題を共有するためのプラットフォーム会議や文化観光コンテンツ創出に向けてのシンポジウムを開催する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度（ 年度）						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	33,627	50,732	20,628	20,063	20,603
		(b) 予算現額	46,749	50,557	20,628	20,063	10,182
		(c) 増減額 (b-a)	13,122	▲ 175	0	0	▲ 10,421
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計 (b+d)		46,749	50,557	20,628	20,063	10,182
	B. 執行済額		42,747	44,696	16,739	17,867	8,265
	うち交付金充当額		34,197	35,756	13,390	14,292	6,611
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率 (%) (B/A)		91.4%	88.4%	81.1%	89.1%	81.2%
予算の状況の説明		補正については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当初計画していた人材育成に係る首都圏での観光意識調査活動の見送り並びに一部委託業務の見直し等に伴う事業費減額である。 不用については、委託業務の精算などによるものである。					
活動目標（指標）及び達成状況	R2活動目標（指標）		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	クルーズ船での来島客を対象とした案内所設置	目標	(実施)	(実施)	()	()	
		実績	(実施)	(未実施)	()	()	
	石垣島天文台内の「星空学びの部屋」で案内業務等を実施	目標	(実施)	(実施)	()	()	
		実績	(実施)	(実施)	()	()	
	市民等を対象とした観光に関するシンポジウム開催、観光受入の課題を議論する場の設置	目標	(実施)	(実施)	()	()	
		実績	(実施)	(未実施)	()	()	
	観光パンフレットや多言語マップの作成	目標	(実施)	(実施)	()	()	
		実績	(実施)	(実施)	()	()	
南の島の星まつりへの補助	目標	(実施)	(実施)	()	()		
	実績	(実施)	(実施)	()	()		
とぅばらーま大会への補助	目標	(実施)	(実施)	()	()		
	実績	(実施)	(実施)	()	()		
達成状況説明		・新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延によりクルーズ船の入港が無かったため、案内所の設置は未実施となった。 ・石垣島天文台と連携し、施設見学や観望会を行った。 ・市民を対象とした観光シンポジウムは未実施となったが、新型コロナウイルス感染症対策に関して、観光関連事業者を対象とした意見交換会等を開催し、コロナ禍における観光産業の課題共有や早期解決に向けた支援策について議論した。 ・クルーズ船の受け入れ再開に備え、多言語マップのデータ作成を行った。 ・南の島の星まつりは、無観客による動画配信での実施となった。 ・県のイベント等実施ガイドラインに基づいた新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで、とぅばらーま大会を開催した。					
成果目標（指標）及び進捗状況	R2成果目標（指標）		基準値（年度）	H30年度	R1年度	R2年度	目標値（年度）
	クルーズ船での来訪客数：18,930人以上	目標	()	()	()	(18,930人)	()
		実績				-	
	南の島の星まつりへの来場者数：10,000人以上	目標	()	(9,000人)	(9,000人)	(10,000人)	()
		実績		1,800人	9,000人	-	
	とぅばらーま大会への来場者数：3,300人以上	目標	()	()	(3,000人)	(3,300人)	()
実績				3,000人	600人		
進捗状況説明		・新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延により、クルーズ船による来訪客は無かった。 ・南の島の星まつりについては、新型コロナウイルス感染症対策として、開催方式を動画配信によるまつり開催へ変更し、星の魅力のPRに取り組んだ。開催方法の変更により、設定した来場者数に関しては至っていないものの、YouTube及び地元FM局のホームページにてライブ配信したところ、最終視聴回数は11,224回となり、島内外を問わず多くの方々の関心の高さを伺えることができた。 ・とぅばらーま大会は、新型コロナウイルス感染症対策として入場制限を行い、600人が来場した。また、地元FM局のホームページで動画と音声を同時配信、地元ケーブルテレビにて動画配信を行った。					

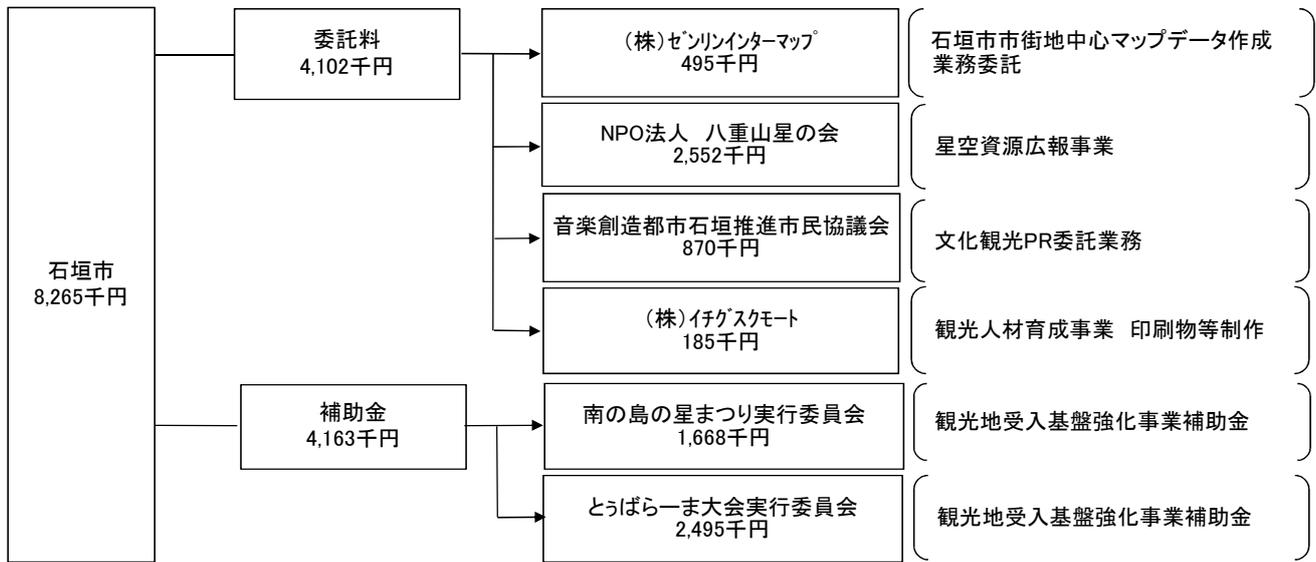
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 国内クルーズの受入再開に向けた体制構築の準備が進められているが、未だ再開のめどが立っていない。 南の島の星まつりは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、これまでとは大きく異なった状況での開催となった。 とらばら一ま大会は、本市の文化的財産といえる八重山民謡を有効な観光資源として内外へ発信することを目的の一つとしているが、感染症拡大防止の観点から、時間短縮や入場制限等を余儀なくされた。 	<ul style="list-style-type: none"> 国内クルーズ船の受け入れに備えて、新型コロナウイルス感染防止対策を含めた受入体制の構築を関係部門と連携して進めていく。 南の島の星まつりは、オンラインでのライブ配信となったことで、世界各地からの視聴が可能となり、より多くの方々に向けてPRすることができた。 とらばら一ま大会は、感染症対策を行いつつ、観光客に向けたより効果的なPR方法を検討する。

今後の取り組み方針

・クルーズ船については、引き続き関係部門と連携しながら、感染症対策を踏まえた観光客受け入れ体制の構築を進める。
 ・星まつりについては、引き続きオンライン等を活用しつつ、「新しい生活様式」を踏まえたイベント開催方法を検討し、実施可能なプログラム内容の見直し等を行う。
 ・とらばら一ま大会についても、「新しい生活様式」を踏まえた開催方法やオンライン等を活用した観光客へのPR方法を検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
8,265	8,265	6,611	1,654	0



資金の用途の点検・費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先については、企業組織、実績、知識等を勘案した上で、地方自治法施行令及び石垣市財務規則の規程に基づき、随意契約を締結しており、また、補助交付については補助金交付対象を交付要綱にて定めており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助金は交付要綱に沿って補助を行っており、妥当である。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名		石垣市					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④ 南ぬ島空港観光案内所運営事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-イ		
	担当部課名	企画部 観光文化課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度		市場特性に対応した誘客活動の展開	
				沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容		空港利用者の利便性の確保を図るため、空港ターミナルビル内に観光案内所を設置し、国内外からの旅行者を対象とした観光案内サービスを実施する。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	9,100	9,100	9,100	7,000	2,500
		(b) 予算現額	9,100	8,600	6,849	7,000	2,500
		(c) 増減額(b-a)	0	▲500	▲2,251	0	0
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		9,100	8,600	6,849	7,000	2,500
	B. 執行済額		8,257	6,320	4,947	6,633	2,326
	うち交付金充当額		6,606	5,056	3,957	5,306	1,860
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		90.7%	73.5%	72.2%	94.8%	93.0%
予算の状況の説明		不用については、委託業務の精算に伴う執行残である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	観光案内サービスの実施	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	南ぬ島石垣空港案内カウンターにおいて、観光案内サービスを提供するスタッフを1名配置し、観光案内業務、台風時や危機管理における観光客への情報収集及び発信、石垣市の観光全般に関する苦情受付業務等をおこなった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	観光案内によって利便性が確保されたか(80%以上)を含め、本事業のあり方をアンケートで検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		99%	75%	92%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	案内所利用者に対してアンケートを実施したところ、26人中24人が「案内所において必要な観光情報が得られた」という回答であった(無回答:2人)。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・新型コロナウイルス感染症の影響による観光客数の減少や旅行形態の変化に伴い、観光案内所を利用する観光客も激減した。	・八重山圏域の玄関口となる空港内に設置している観光窓口であるという特性を活かし、感染症対策を含めた観光情報の発信を積極的に行う。
今後の取り組み方針		
・単なる観光案内だけでなく、旅中における感染症対策の情報発信を積極的に行う等、安心・安全な観光地を目指し受け入れ態勢の強化を進める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	2,326	2,326	1,860	466	0
<pre> graph LR A[石垣市 2,326千円] --> B[委託料 2,326千円] B --> C["(一社)石垣市観光交流協会 2,326千円"] subgraph D [] C end style D stroke-dasharray: 5 5 </pre>					

資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先については、企業組織、実績、知識等を勘察した上で、地方自治法施行令及び石垣市財務規則の規程に基づき、随意契約を締結し、妥当である。 ○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤ 石垣市内文化財環境整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(6)-ア		
	教育部 文化財課		事業実施（予定）年度 平成27～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所		
担当部課名	教育部 文化財課		事業実施（予定）年度 平成27～令和3年度		III-1-(1)		
事業内容	市内にある重要文化財等を保全し、観光資源としても活用するため、指定文化財等の周辺環境を整備し、本市の歴史や文化の魅力を発信する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度（R3年度）						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,650	14,505	1,024	660	420
		(b) 予算現額	5,650	14,505	1,024	660	420
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
	A. 計 (b+d)		5,650	14,505	1,024	660	420
	B. 執行済額		2,820	13,660	922	475	420
	うち交付金充当額		2,255	10,928	737	379	335
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率（%）(B/A)		49.9%	94.2%	90.0%	72.0%	100.0%
予算の状況の説明		事業計画どおり執行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	R2活動目標（指標）		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	文化財案内板設置 5箇所	目標	（ 実施 ）	（ 5箇所 ）	（ ）	（ ）	
		実績	実施	6箇所			
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績					
達成状況説明	・文化財案内看板を4基、文化財案内表示プレートを1枚、文化財指定銘板を1枚設置した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	R2成果目標（指標）		基準値（年度）	R1年度	R2年度	R3年度	目標値（R3年度）
	文化財案内板設置完了	目標	（ ）	（ 完了 ）	（ 完了 ）	（ ）	（ ）
		実績		完了	完了		
	【R3成果目標】 地元のエコツーリズム協会が整備完了後の文化財を活用して行う史跡めぐりの実施（年12回以上開催）	目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ 12回 ）
		実績					
	進捗状況説明	・多言語併記の文化財の案内板や表示プレートを設置したことにより、所在地や進入路が分かりづらい当該文化財への周知及び誘導が図られ、海外からの観光客を含め、来訪者等が訪れる機会の創出につなげることができた。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 文化財については、年度途中で新たに文化財指定されたものもあるほか、設置場所について適当な場所が他の用途(水源地、造林地、公衆用道路等)としての属性を帯びているため、説明板等の設置に至っていないものもある。 市内の文化財に訪れる海外からの観光客に対しても、島の歴史や文化の魅力を伝えることができるようにしていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 新たに指定された文化財についても説明板等の設置を検討する必要があるほか、説明板等の設置にあたり、他の用途としての属性を帯びている箇所については、関係機関との調整等を進めていく必要がある。 海外からの観光客にも文化財の魅力を伝えるため、多言語併記の説明板等の整備を進めていく必要がある。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> 文化財を観光資源として活用していくにあたっては、新たに指定された文化財をはじめ貴重な文化財等の保全及び周知を図る必要があることから、説明板等の設置に向けて関係機関との調整を進める。併せて、観光客等が本市の文化財等に関する情報に触れる機会を増やすことができるよう、ホームページ等での情報発信なども検討していくこととする。 海外からの観光客にも歴史や文化を学べる機会を提供するため、引き続き、多言語併記の説明板の整備を行うこととする。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
420	420	335	85	0



資金の用途の流れ、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○支出先の選定については、複数の業者から見積書を徴収し、より安価な業者を選定したもので妥当である。 ○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑥ 八重山博物館所蔵資料修復及び整理・活用事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(4)-ア			
	教育部 博物館		事業実施（予定）年度 平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所			
担当部課名					III-1-(1)			
事業内容	歴史の継承および観光資源として活用し、誘客を図ることを目的として、虫食いや退色等により状態の良いくない古文書・絵画等を修復し展示等を行うとともに、修復した資料のデジタル化を行い、調査・研究等に活用する。							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度（R3年度）							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	16,994	12,000	6,000	6,007	6,106	
		(b) 予算現額	16,994	12,000	6,000	6,006	10,286	
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	▲1	4,180	
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計 (b+d)		16,994	12,000	6,000	6,006	10,286	
	B. 執行済額		16,995	11,960	5,997	5,995	10,213	
	うち交付金充当額		13,564	9,567	4,798	4,795	8,170	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	99.7%	100.0%	99.8%	99.3%	
予算の状況の説明		補正については、修復資料の追加による事業費増額である。						
活動目標（指標）及び達成状況	R2活動目標（指標）		達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	所蔵資料の修復及び修復済資料のデジタル化	目標	(21件)	(6件)	(12件)	(17件)		
		実績	16件	6件	12件	17件		
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	・八重山博物館所蔵 喜舎場コレクションの新聞資料6点と九場島清輝画稿11点の修復、デジタル化を実施し完了した。							
成果目標（指標）及び進捗状況	R2成果目標（指標）		基準値（年度）	R1年度	R2年度	R3年度	目標値（R2、3年度）	
	新聞資料6点、絵画資料11点の修復及びデジタル化	目標	()	(12件)	(17件)	()	()	
		実績		12件	17件			
	【R2成果目標】 令和元年度に修復した資料を活用した企画展を開催し、観覧者数250人以上を目指す。		目標	()	()	(250人)	()	(250人)
			実績		87人			
	【R3成果目標】 令和2年度に修復した資料を活用した企画展を開催し、観覧者数250人以上を目指す。		目標	()	()	()	()	(250人)
		実績						
進捗状況説明	・R2年度は、八重山博物館所蔵 喜舎場永珣コレクションの新聞資料と九場島清輝画稿の修復、デジタル化に取り組み、これまでに修復、デジタル化を終えた資料を企画展等で公開・展示し、87名の来館があった。							

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・常設展にコーナーを設けて、修復した資料の一部を展示に活用したほか、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の対策をした上で企画展にも活用したが、館のスペースの問題や、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の対策をとって展示を行ったため、全ての資料を一斉に公開することはできなかった。修復した所蔵品を魅力ある観光資源として繋げていくため、より効果的な公開、活用方法を図る必要がある。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を継続しながら館の運営をしているため、令和2年度の入館者数は減少傾向にあった。今後も常設展における展示替えや新収蔵展等の企画展での修復資料の公開、活用を図ることで、入館者数の回復を図り、また、引き続き石垣市立八重山博物館HP等での公開についても検討を進める。</p>

今後の取り組み方針

・修復及びデジタル化した所蔵資料については、市公式ホームページやSNS等での情報発信を行い、常設展の一部コーナーでの展示及び企画展等での活用に取り組むこととする。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
10,213	10,213	8,170	2,043	0



資金の流 れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、専門性の高い業務であることから委託業務は地方自治法に基づき、随意契約とし、妥当である。 ○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑦ 花満開いしがきじま事業		沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-エ		
	担当部課名	建設部 施設管理課		事業実施(予定)年度	平成24～令和2年度	観光客の受入体制の整備	
				沖繩振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	魅力的な景観の形成を図るため、観光客が多く訪れる石垣港離島ターミナル周辺及び美崎公園から新栄公園周辺の道路植栽を実施する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R3年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	R1年度	R2年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	13,568	-			45,947
		(b) 予算現額	33,568	-			45,947
		(c) 増減額(b-a)	20,000	-			0
		(d) 繰越額	-	19,806			-
		A. 計(b+d)	33,568	19,806			45,947
	B. 執行済額		13,762	19,234			41,070
	うち交付金充当額		11,009	15,387			32,855
	次年度繰越額		19,806	-			0
	執行率(%) (B/A)		41.0%	97.1%			89.4%
予算の状況の説明		不用については、工事請負費の執行残である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	植栽工事の実施	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・石垣港離島ターミナル周辺及び美崎公園から新栄公園周辺の道路植栽を行なった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R3年度)
	植栽工事の完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	【R3成果目標】 観光地として魅力的な景観となっているか(80%以上)を含め、本事業のあり方を観光客を対象としたアンケートで検証	目標	()	()	()	()	(80%)
		実績					
	進捗状況説明	・観光客の多くが利用する離島ターミナル周辺などにおいて、植栽を実施したことにより、石垣島らしい風景づくりにつなげることができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、石垣島を訪れる観光客が激減している状況がある。	・ウィズ、アフターコロナを見据え、引き続き、石垣島の魅力ある町並みや風景を内外にPRするとともに、地域や商業施設等と連携を図りながら景観を保つ必要がある。

今後の取り組み方針

・観光客が石垣島を訪れたいくなるよう観光中心地における魅力ある風景を発信するとともに、石垣島らしい町並みを保つため、当該地区の植栽剪定作業を他の地区より重点的に実施するなど、適切な維持管理に取り組むこととする。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
41,070	41,070	32,855	8,215	0



資金の流 れの点 検・費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業者は指名競争入札で選定しており、妥当である。 ○予算規模は必要最小限での構造・規格となっており、妥当と考えている。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-④ 平久保半島エコロード整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-ア		
	担当部課名	建設部 都市建設課		事業実施（予定）年度	平成25～令和3年度	国際的な沖縄観光ブランドの確立	
				沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	国立公園区域に指定された区域である平久保半島の自然をスポーツツーリズムの資源として活用するため、豊かな自然景観、自然環境に配慮した環境共生型(エコロード)の道路整備を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R3年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,000	10,000	23,000	47,300	
		(b) 予算現額	651	10,000	23,000	121,090	
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 3,349	0	0	73,790	
		(d) 繰越額	-	-	-	-	
	A. 計 (b+d)		651	10,000	23,000	121,090	
	B. 執行済額		651	9,960	22,990	120,708	
	うち交付金充当額		520	7,968	18,392	96,565	
	次年度繰越額		0	0	0	0	
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	99.6%	100.0%	99.7%	
予算の状況の説明		補正については、工事請負費の追加による事業費増額である。					
活動目標（指標）及び達成状況	R2活動目標（指標）		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	測量設計の実施	目標	()	()	(実施)	()	
		実績			実施		
	道路整備工事の実施	目標	(実施)	(実施)	(実施)	()	
		実績	実施	実施	実施		
達成状況説明	・新規整備区間3,120mの測量設計業務を実施し、うち道路整備の必要な2,300mの工事を実施して、新規整備区間の整備が完了した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	R2成果目標（指標）		基準値（年度）	H30年度	R1年度	R2年度	目標値（R2、3年度）
	測量設計の完了	目標	()	()	()	(完了)	()
		実績				完了	
	道路整備工事の完了	目標	()	(1件)	(1件)	(完了)	()
		実績		1件	1件	完了	
	【R2成果目標】エコロードを活用して行われる「石垣島オーシャンビュートレイルラン&ウォーク大会」への参加者数810人以上		目標	()	()	(810人)	(810人)
			実績			-	
	【R3成果目標】エコロードを活用して行われる「石垣島オーシャンビュートレイルラン&ウォーク大会」への参加者数810人以上		目標	()	()	()	(810人)
		実績					
進捗状況説明	・測量及び整備工事が完了したことにより、石垣島オーシャンビュートレイルラン&ウォーク大会の参加者数増加に繋げることができたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、同大会の開催が見送られることとなった。						

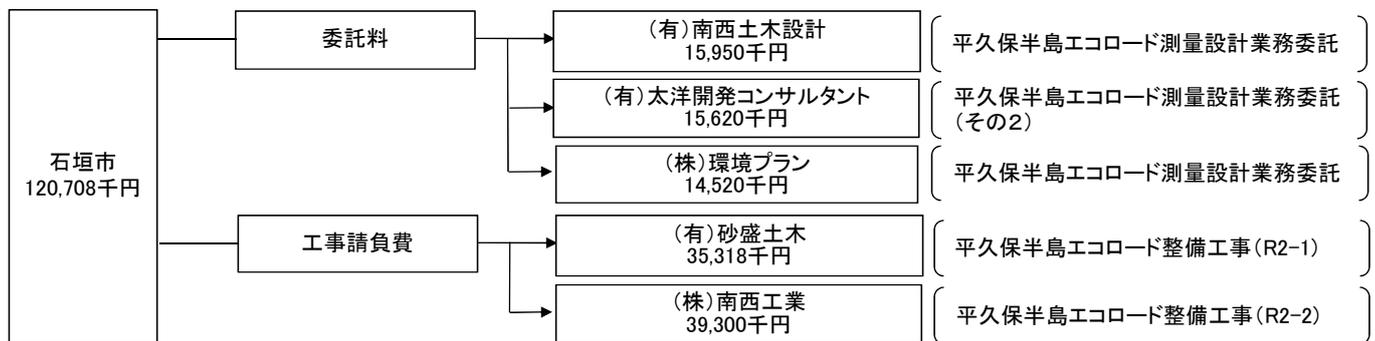
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・エコロードの整備が完了したことにより、新たな観光資源の創出に繋げることができたが、来島する観光客への広報が不足している。また、当面の間は新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続くものと見られる。</p>	<p>・エコロードは平久保半島の雄大な自然を味わうことができ、石垣島を訪れる観光客の満足度を高めることできるものと期待される。アフターコロナの時代を見据え、引き続き、知名度の向上を図るとともに、適切な保全等に取り組む必要がある。</p>

今後の取り組み方針

・石垣市の公式ホームページや広報誌等を活用し、エコロードの広報活動を行うとともに、関係機関との連携を図りながら、保全及び維持管理に取り組むこととする。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
120,708	120,708	96,565	24,143	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業業者は指名競争入札で選定しており、妥当である。 ○予算規模は必要最小限での構造・規格となっており、妥当と考えている。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市											
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】													
事業番号・事業名	2-⑥ 石垣市中央運動公園リニューアル事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-イ								
	担当部課名	建設部 都市建設課		事業実施（予定）年度 平成27～令和3年度		市場特性に対応した誘客活動の展開							
				沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-1-(1)							
事業内容		石垣市中央運動公園は、八重山圏域唯一の運動公園であり、市民利用をはじめとし、多様なスポーツ、イベントが開催され、八重山圏域だけでなく国内外からも数多くの方に利用されており、近年では、プロ野球のキャンプ地としても活用され、本市の観光拠点としても重要な施設となっている。一方、運動施設の老朽化や時代の変遷による園内敷地の低利用化などの課題が出てきており、再整備の必要性が高まっている。このようなことから、八重山圏域唯一の運動公園としての存在価値を高めるため、石垣市中央運動公園全体のリニューアル整備を行うことにより、観光客をはじめとした多くの方々を呼び込み街の活性化に取り組む。											
効果発現年度		<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度（R6年度）											
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）											
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）	予算の状況	H28年度		H29年度		H30年度		R1年度		R2年度			
		(a) 当初予算額	20,272		100,400						14,000		
	(b) 予算現額	20,272		79,997						10,000			
	(c) 増減額 (b-a)	0		▲ 20,403						▲ 4,000			
	(d) 繰越額	-		-						-			
	A. 計 (b+d)	20,272		79,997						10,000			
	B. 執行済額	18,061		73,925						8,800			
	うち交付金充当額	14,448		58,510						7,040			
	次年度繰越額	0		0						0			
	執行率（％）(B/A)	89.1%		92.4%						88.0%			
予算の状況の説明		補正については、入札残による事業費減額である。 不用については、委託業務の執行残である。											
活動目標（指標）及び達成状況	R2活動目標（指標）		達成状況										
			R2年度		R3年度		R4年度		R5年度				
	再整備基本計画の策定完了		目標	(完了)		()		()		()			
			実績	完了									
			目標	()		()		()		()			
			実績										
達成状況説明		・スポーツ関係団体及び庁内関係者で構成する検討委員会及びワーキング会議等を開催し、再整備施設の機能・規模・配置計画を盛り込んだ再整備基本計画を策定した。											
成果目標（指標）及び進捗状況	R2成果目標（指標）		基準値（年度）		R2年度		R3年度		R4年度		目標値（R6年度）		
	再整備基本計画の策定完了		目標	()		(完了)		()		()		()	
			実績			完了							
	【R6成果目標】 リニューアル整備後の施設を活用したスポーツ大会等の参加者数13,000人以上／年間		目標	()		()		()		()		(13,000人)	
			実績										
	進捗状況説明		・基本計画のなかで再整備に係る施設の機能、規模、配置計画等を設定し、再整備事業計画の方針を明確にした。										

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・現状として、老朽化施設の建替え、バリアフリーへの対応、公園敷地内の雨水排水能力の不足、駐車スペースの不足など多くの課題を抱えており、今後再整備を進めていくうえで、策定した基本計画をもとに様々な関係者と意見交換を行いながら、詳細を決めていく必要がある。</p>	<p>・個別の施設整備を進めることも重要であるが、公園全体が広大な敷地であるため、初めての利用時の不案内や大会時・イベント時の迷子発生などのリスク回避など、施設全体の配置についてわかり易さを提供するといったようなことにも取り組む必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・石垣市中央運動公園のリニューアルについては、以下の3点をコンセプトとし、再整備に取り組むこととする。</p> <p>①多様な大会に対応できる質の高いスポーツ施設 ②日常的に利用できる健康づくり施設・憩いの空間・スポーツに親しみを持ち興味・関心を高める施設 ③安心・安全な防災拠点</p>		

資金の流れ					
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	8,800	8,800	7,040	1,760	0
<pre> graph LR A[石垣市 8,800千円] --> B[委託料 8,800千円] B --> C[昭和(株)沖縄支社 8,800千円] subgraph Note C --- D["石垣市中央運動公園再整備全体 基本計画策定業務委託"] end </pre>					

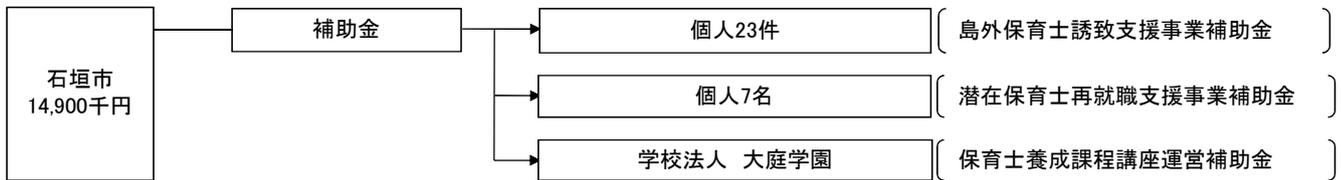
資金の流 れの点 検・費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当である。 ○予算規模は必要最小限での構造・規格となっており、妥当と考えている。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。	

市町村名		石垣市					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-① 離島保育士確保総合対策事業		沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-2-(2)-イ		
	福祉部子ども未来局 子育て支援課		事業実施（予定）年度 平成28～令和3年度		地域における子育て支援の充実		
担当部署名			沖繩振興基本方針該当箇所		Ⅲ-4		
事業内容	待機児童解消に必要な保育士の増加を図るため、島外保育士の渡航費等支援や潜在保育士の再就職支援により保育士確保を推進するほか、市内での保育士養成課程の実施支援や市内での保育士試験実施により保育士資格取得に向けた支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度（ 年度）						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d)		18,950	20,560	19,828	24,864	23,517
			20,471	28,860	21,428	23,051	25,317
			1,521	8,300	1,600	▲ 1,813	1,800
			—	—	—	—	—
		20,471	28,860	21,428	23,051	25,317	
		12,009	26,083	13,810	20,223	14,900	
		9,607	20,866	11,047	16,177	11,920	
		0	0	0	0	0	
		58.7%	90.4%	64.4%	87.7%	58.9%	
	予算の状況の説明 補正については、保育士確保に係る補助の見込みによる事業費増額である。 不用については、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響が続いたことから、保育士確保に係る補助の見込みに対して、年度後半より申請が減少したことに伴う執行残である。						
活動目標（指標） 及び達成状況	R2活動目標（指標）		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	島外保育士の渡航費、転居費等の支援	目標	（ 実施 ）	（ 実施 ）	（ 実施 ）	（ 実施 ）	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	潜在保育士の再就職の支援	目標	（ 実施 ）	（ 実施 ）	（ 実施 ）	（ 実施 ）	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	保育士養成校への支援	目標	（ 実施 ）	（ 実施 ）	（ 実施 ）	（ 実施 ）	
実績		実施	実施	実施	実施		
保育士試験離島開催に係る本部長研修への参加	目標	（ 実施 ）	（ 実施 ）	（ 実施 ）	（ 実施 ）		
	実績	実施	実施	未実施	実施		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 島外保育士の渡航費等の支援により、県内から10名、県外から13名の保育士を確保した。 潜在保育士の再就職支援により、7名の保育士を確保した。 市内において保育士養成課程の実施に関する専門学校へ支援を行い、6名が入学した。過年度に入学した9名が保育士資格を取得した。 保育士試験の本市開催に向けて試験監督員研修へ参加予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりオンライン形式での開催となり2名受講した。 						
成果目標（指標） 及び進捗状況	R2成果目標（指標）		基準値（年度）	R2年度	R3年度	R4年度	目標値（年度）
	保育施設の新規開設による受入可能園児数：98人以上	目標	（ ）	（ 98人 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		80人			
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績					
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 受入可能園児数については、島外からの保育士や潜在保育士の誘致補助、保育士資格取得の環境整備等の取組みにより39名の保育士を確保することができたとともに、市内での保育施設の1園開設等も通じて、80人を果たすことができた。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・保育士確保に係る各種補助の申請や保育士資格取得の養成校の入学者が減少傾向にあり、支援制度の周知が十分に行き渡っていない可能性がある。</p>	<p>・コロナ禍での人流低下などもあり、補助の利用が減少しているものの、島内での保育士確保が困難な現状からも、アフターコロナを見据え、引き続き、各種支援策についての周知に取り組む必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・各支援策の周知については、市公式ホームページ及びSNSの活用するとともに、市内における潜在保育士確保を図るため、ハガキ等による周知活動等に取り組むこととする。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
14,900	14,900	11,920	2,980	0



資金の流 れ、費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は補助金交付対象を交付要綱に定めており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○補助交付申請を予定していた者からの未申請や補助申請の減少等により不用が生じたものの、予算規模は、事業の計画から適正な規模であったと考えている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者との負担関係については、補助事業の内容から判断して妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名		石垣市					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-② ひとり親家庭生活支援モデル事業		沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-2-(2)-エ		
	担当部課名	福祉部子ども未来局 とも家庭課	事業実施(予定)年度	平成30～令和3年度	沖繩振興基本方針該当箇所	Ⅲ-4	
事業内容	ひとり親家庭世帯の自立を図るため、自立に向けた具体的な目標及び意欲のある世帯に対し、民間アパートを活用した住宅支援や就労支援、子育て支援等の生活全般にわたる支援を原則1年間行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,900	9,607	9,749		
		(b) 予算現額	5,310	8,500	9,749		
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 590	▲ 1,107	0		
		(d) 繰越額	—	—	—		
		A. 計 (b+d)	5,310	8,500	9,749		
	B. 執行済額		4,806	7,143	7,835		
	うち交付金充当額		3,845	5,713	6,267		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		90.5%	84.0%	80.4%		
予算の状況の説明		不用については、委託業務の精算などによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	年間支援対象世帯数:4世帯	目標	(3世帯)	(5世帯)	(4世帯)	()	
		実績	4世帯	7世帯	5世帯		
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明		・昨年度より引き続き支援を行った3世帯のうち、1世帯は支援期間満了を待たず自立により支援終了し、2世帯についても期間満了を持って無事支援を終了した。 ・年度中に新たに2世帯への支援を始めることができた。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	支援開始1年後の自立した世帯の割合:65%以上	目標	()	(65%)	()	()	()
		実績		100%			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明		・コロナ禍により特に経済的な不安が大きい1年であったが、支援終了した3世帯のいずれもが指導を受けつつ貯蓄改善の目標を達成できた。				

市町村名		石垣市					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-④ ものづくり、マーケティング総合支援事業		沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(9)-イ		
	担当部署	企画部 商工振興課		事業実施（予定）年度 平成24～令和3年度		県産品の販路拡大と地域ブランドの形成	
事業内容				沖繩振興基本方針該当箇所		Ⅲ-1-(7)	
	効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）					
実施方法		□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）					
	予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）	予算の状況		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
(a) 当初予算額			58,935	45,428	38,245	28,720	31,513
(b) 予算現額		58,935	45,428	38,245	28,720	23,813	
(c) 増減額 (b-a)		0	0	0	0	▲ 7,700	
(d) 繰越額		-	-	-	-	-	
A. 計 (b+d)		58,935	45,428	38,245	28,720	23,813	
B. 執行済額		58,310	40,710	35,471	22,825	19,361	
うち交付金充当額		46,648	32,568	28,376	18,259	15,488	
次年度繰越額		0	0	0	0	0	
執行率 (%) (B/A)		98.9%	89.6%	92.7%	79.5%	81.3%	
予算の状況の説明		補正については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当初計画していた県内及び海外での市場調査活動及び一部委託業務の実施見送りなどに伴う事業費減額である。 不用については、各委託業務の精算などによるものである。					
活動目標（指標）及び達成状況	R2活動目標（指標）		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	石垣空港から海外へ物品を輸送するための体制構築（保税蔵置場の設置・運営、利活用促進）	目標（ ）	実施（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
	需要調査、特産品の営業活動	目標（ ）	実施（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
	物産展等への出展	目標（ ）	実施（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
	工芸館展示ルームのリニューアル	目標（ ）	未実施（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
	八重山上布生産技術の伝承	目標（ ）	実施（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
	伝統工芸技術習得者の就業に向けた支援制度検討	目標（ ）	実施（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
	焼き物に適した粘土の確保、島内で生産した焼き物の販促	目標（ ）	実施（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
	達成状況説明	海外への輸送にかかる体制構築に関しては、石垣空港内に保税蔵置場を設置し、特産品等の輸出需要の促進等に関する取組みを実施した。 ・需要調査等については、香港市場で海外向け販路開拓に取り組んだほか、島産牛肉の輸出スキーム構築に関する調査を実施した。 ・物産展等への出展については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当初予定されていた秋田県内での発酵サミットイベントが中止となったため、実施できない状況となった。 ・工芸館に関しては、展示ルームの機能向上に取り組む、令和3年3月18日にリニューアルオープンとなった。 ・八重山上布生産技術の伝承については、織子の育成、講習を実施した。 ・伝統工芸技術取得者の就業に向けた支援については、育成支援制度の設計調査を実施した。					
成果目標（指標）及び進捗状況	R2成果目標（指標）		基準値（年度）	H30年度	R1年度	R2年度	目標値（年度）
	特産品の保税輸出货量：1.1トン以上	目標	（ ）	（ ）	（ 2.5トン ）	（ 1.1トン ）	（ ）
		実績				1.6トン	0.38トン
	PR催事（離島フェア）における出展ブース来場者数 延べ2,750人以上	目標	（ ）	（ ）	（ 2,500人 ）	（ 2,750人 ）	（ ）
		実績			2,500人	-	
	八重山上布の研修終了者：8人以上	目標	（ ）	（ 17人 ）	（ 15人 ）	（ 8人 ）	（ ）
実績			5人	15人	15人		
進捗状況説明	・特産品の輸出については、国内外で新型コロナウイルス感染症拡大の影響があり、当初計画した規模での実施には及ばず、約35%の達成状況となった。 ・離島フェアをはじめ県外で予定されていた各種催事が、コロナ禍で中止となったことから、設定の来場者数には至っていない。 ・八重山上布の原材料となる苧麻系の後継者育成については、目標を上回る受講者があった。						

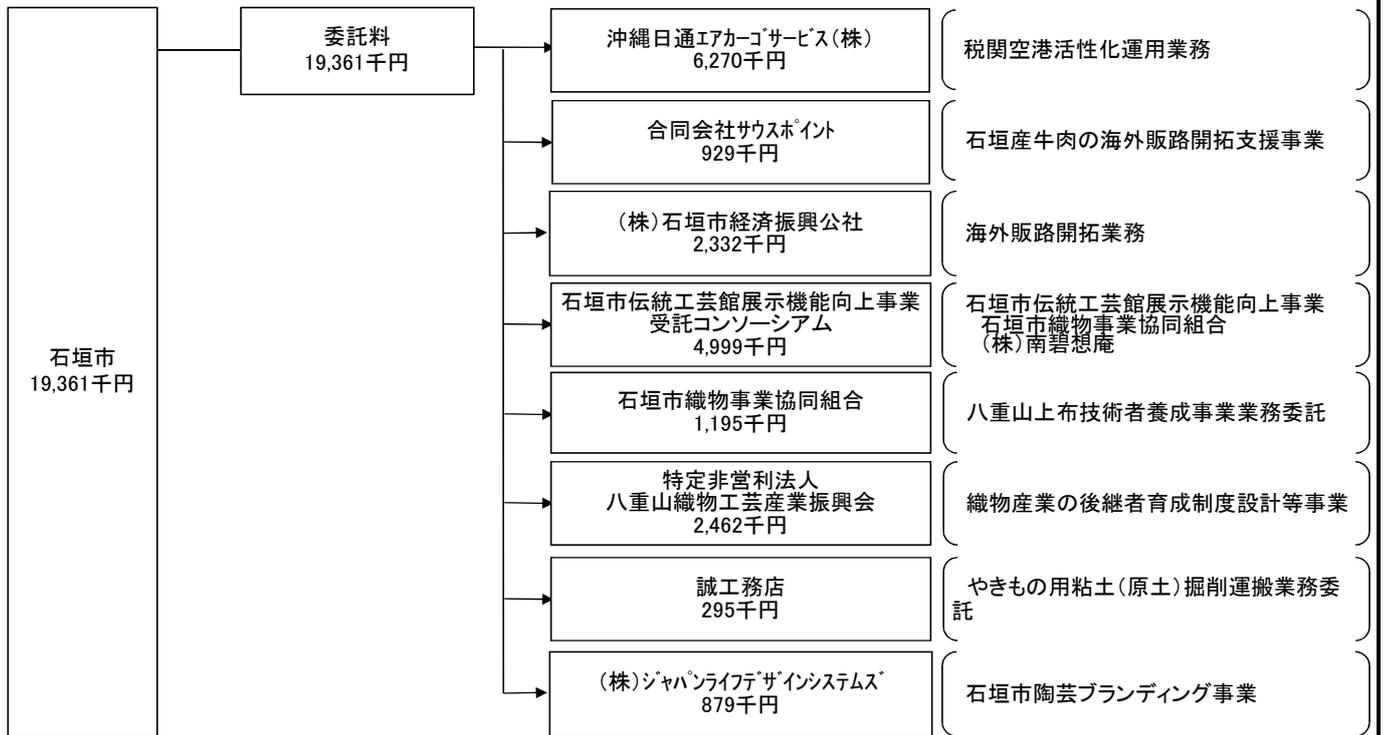
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍が長期化したことで、事業推進に影響が続いた。一方で、オンラインやEコマースでの販路開拓が大きなテーマとなっている。 ・八重山上布やミンサー織といった伝統織物の後継者に関しては、継続した支援が必要となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保税蔵置場からの海外輸出については、遠隔からでも身近に特産品等の購買魅力を紹介できる方法として、重点品目となる牛肉を中心にEコマースでの販路開拓に取り組んでいく。 ・ものづくり分野全般の販路先について、新型コロナウイルス感染症の影響から円滑に回復できるよう後継者の育成及び販路開拓等の取り組みを強化していく必要がある。

今後の取り組み方針

・海外輸出については、今後海外のネット通販への参加、そして牛肉の輸出ができるよう地域商社機能を確立、発揮に取り組む。
 ・ものづくり分野への経済支援策について検討を行うとともに、伝統工芸品の販促と魅力についての情報発信、PR活動を両輪として取り組む。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
19,361	19,361	15,488	3,873	0



資金の流れ、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先については、企業組織、実績、知識等を勘察した上で、地方自治法施行令及び石垣市財務規則の規程に基づき、随意契約を締結し、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-⑤ 石垣市就業支援事業		沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(8)-イ		
	担当部課名	企画部 商工振興課		事業実施(予定)年度	平成30~令和3年度	沖繩振興基本方針該当箇所	商店街・中心市街地の活性化と商業の振興
				Ⅲ-2			
事業内容		児童生徒の島内での就業意識向上を図るため、市内の事業所等でのジョブシャドーウィングを実施する。					
効果発現年度		<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,426	4,500	4,000		
		(b) 予算現額	4,426	4,500	3,000		
		(c) 増減額(b-a)	0	0	▲1,000		
		(d) 繰越額	-	-	-		
	A. 計(b+d)		4,426	4,500	3,000		
	B. 執行済額		4,305	4,193	3,000		
	うち交付金充当額		3,444	3,354	2,399		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		97.3%	93.2%	100.0%		
予算の状況の説明		減額については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、補助先における「お仕事体験イベント」が中止となったことなどに伴う事業費減額である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	石垣市グッジョブ連携協議会による、小学生向けの職業体験イベントの開催や中学生向けのキャリア教育セミナープログラムの実施		目標 (実施)	(実施)	()	()	
			実績 実施	一部実施			
		目標 ()	()	()	()		
		実績					
達成状況説明		小学生を対象にしたジョブシャドーウィングでは、石垣小学校(6年生:61人)、大本小学校(5、6年生:3人)において実施した。また、伊野田小学校(3~6年生:11人)においてAIワークショップを2月12日に開催した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	「わくわくワーク仕事体験会」来場者数:1,000名以上		目標 ()	()	(850名)	(1,000名)	()
			実績		895名	-	
	島内の就業に対する意欲が向上したか(80%以上)を含め、事業のあり方についてアンケート調査により検証		目標 ()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		78%	80%	98.3%	
進捗状況説明		「わくわくワーク仕事体験会」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実施を見合わせる事となったが、AIワークショップを開催したことで、児童にAIを身近に感じてもらうことに繋げることができた。ジョブシャドーウィングやAIワークショップなどを通じて、就業に対する意欲向上が図られたかアンケートを実施したところ、目標値を大きく上回る結果を得ることができた。					

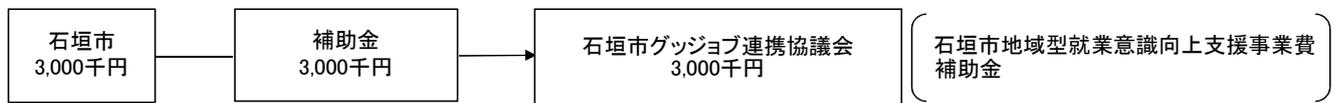
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・島内における業種の現状として、事業継承や人手不足が課題になっている職業分野がある。</p>	<p>・事業継承や人手不足が課題となっている、福祉、建設、農林水産分野などの就業魅力を紹介するプログラムや機会を創出して、就業意識の向上に取り組む必要がある。</p>

今後の取り組み方針

・アフターコロナ及びAIを活用した新たな働き方の時代の到来を見据えて、学校や関係団体との連携、企業等の協力を得ながら、仕事体験会やジョブシャドウイング等の各種取り組みを展開していくこととする。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
3,000	3,000	2,399	601	0



資金の用途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は補助金交付対象を交付要綱に定めており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助金は交付要綱に沿って補助を行っており、妥当である。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

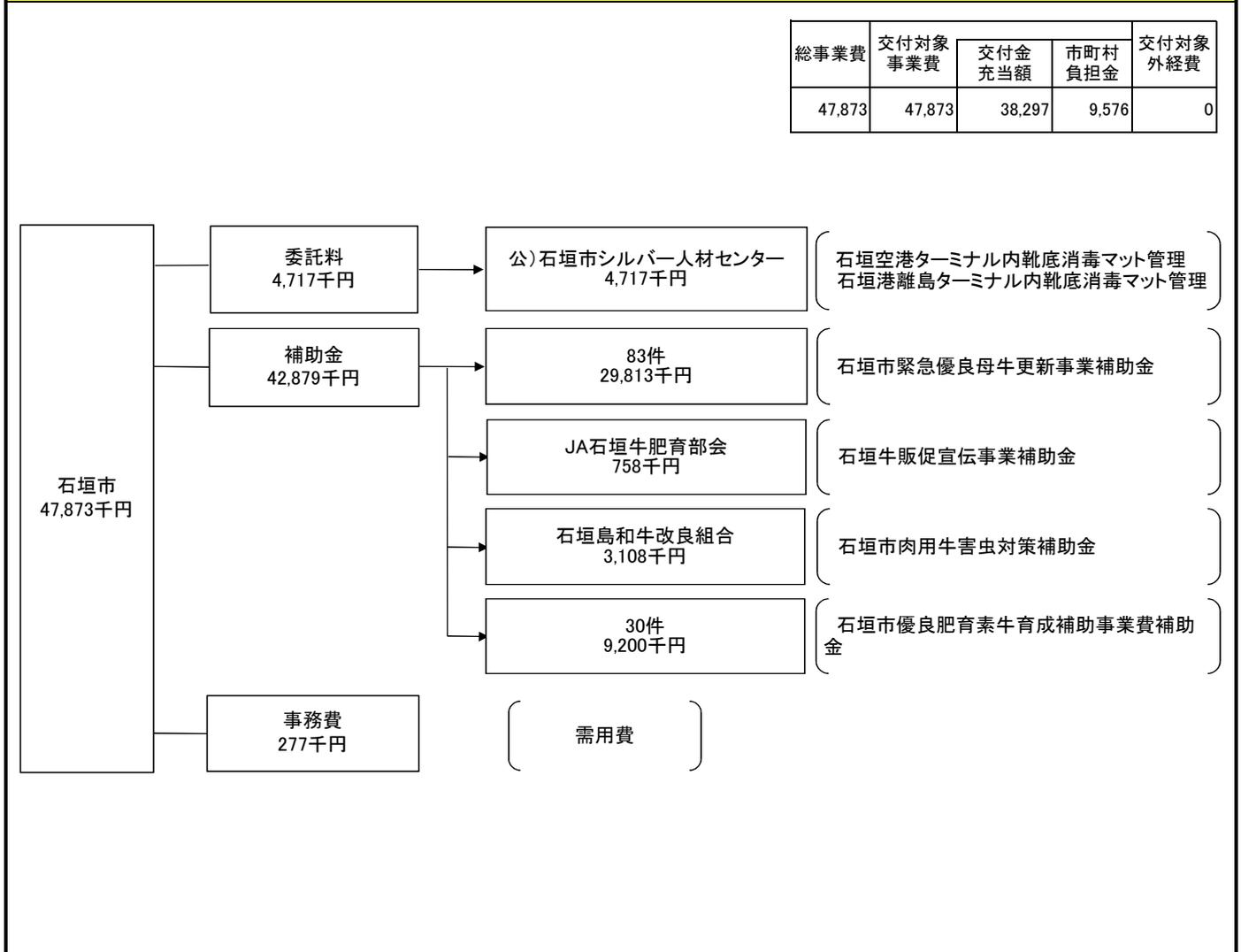
市町村名		石垣市					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-① "石垣産の牛"生産推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(7)-ア		
	担当部署	農林水産部 畜産課		事業実施(予定)年度 平成24~令和3年度		おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備	
事業内容		本市のブランド牛である「石垣牛」の出荷頭数及び平均販売額の増加を図るため、肥育開始前の子牛(素牛)や肥育牛の増に資する補助を実施する。また、伝染病等の防止及び肉用牛の販売額の向上を図るため、離島観光地である本市として、空港等での家畜伝染病防止等の取り組みを実施する。					Ⅲ-1-(6)
	効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	51,751	55,251	51,392	116,834	51,433
		(b) 予算現額	60,751	55,251	48,692	52,664	51,541
		(c) 増減額(b-a)	9,000	0	▲ 2,700	▲ 64,170	108
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計(b+d)	60,751	55,251	48,692	52,664	51,541
	B. 執行済額		46,383	53,063	45,730	48,094	47,873
	うち交付金充当額		37,106	42,450	36,583	38,474	38,297
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		76.3%	96.0%	93.9%	91.3%	92.9%
予算の状況の説明		不用については、肉用牛害虫対策補助並びに優良肥育素牛育成補助の利用畜産農家数が当初の予定を下回ったことなどによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	優良母牛導入補助の実施	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	優良肥育素牛への補助実施	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	石垣牛宣伝活動への補助実施	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	殺虫剤購入費補助の実施	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
靴底消毒の実施(空港、離島ターミナル)	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)		
	実績	実施	実施	実施	実施		
達成状況説明		<ul style="list-style-type: none"> ・優良母牛の導入については、R2年度導入計画頭数70頭に対し83頭(達成率118%)を導入し更新を図った。 ・肥育素牛への濃厚飼料費については、目標頭数250頭に対し184頭(達成率73.6%)の飼料費補助を行った。 ・広告電光掲示については、石垣空港手荷物受取所で電光掲示板を作成し掲示広告を行った。 ・殺虫剤塗布については、目標頭数12,500頭に対し10,500頭分(達成率84%)に塗布を行った。 ・家畜伝染病防止等のため、空港と離島ターミナルでの靴底消毒にかかる消毒マットを設置し、ウイルス侵入リスクの低減を図った。 					
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	素牛の年間出荷頭数:6,575頭以上	目標	()	(6,575頭)	()	()	()
		実績		6,718頭			
	素牛の平均販売額:741千円以上/頭	目標	()	(741千円)	()	()	()
		実績		602千円			
	肥育牛の年間出荷頭数:776頭以上	目標	()	(776頭)	()	()	()
		実績		854頭			
	肥育牛の年間売上高:1,045百万円以上	目標	()	(1,045百万円)	()	()	()
		実績		949百万円			
	伝染病等にかかった頭数:0頭	目標	()	(0頭)	()	()	()
実績			0頭				
進捗状況説明		<ul style="list-style-type: none"> ・素牛の年間出荷頭数について目標値を143頭上回り達成することができた。 ・素牛の平均販売額については新型コロナウイルス感染症の影響で販売価格が暴落し目標に届かなかった。 ・肥育牛の年間出荷頭数については、目標頭数を78頭上回り達成することができた。 ・肥育牛の年間売上高については、新型コロナウイルス感染症の影響で枝肉価格が伸び悩み目標に届かなかった。 ・豚熱の家畜伝染病ウイルスなどの侵入が高まる中、空港等で靴底消毒実施により、家畜伝染病ウイルスの侵入リスク低減が図られ、伝染病に罹った頭数0頭を達成できた。 					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業(優良母牛更新事業等)の活用により、畜産農家の増加や飼養頭数の増頭が目標達成の要因と考えられる。 ・平均販売価格について、新型コロナウイルス感染症の影響で上半期のセリ価格が暴落した事が影響を受け目標に届かなかった要因と考えられる。 ・肥育牛の平均出荷頭数が目標値を上回った要因として、肥育牛は出荷時期の制限があるが、新型コロナウイルス対策支援事業等があり出荷の滞りがなかった。 ・肥育牛の年間売上高については、新型コロナウイルス感染症の影響で枝肉価格が暴落したことが要因と考えられる。 ・家畜伝染病は常に侵入リスクがあるため、観光客や市民に対し伝染病を持ち込まないという意識付けを行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間出荷頭数の増加のため、優良繁殖母牛の飼養頭数の増頭を図る。 ・新型コロナウイルス感染症の影響は減少しつつあるが、購買者のニーズに合った素牛生産に取り組みめるよう、JAや改良組合と連携を強化し平均価格増額に繋げる。 ・複合的な支援や、流通・ネット販売の体制構築等で、石垣牛や石垣産の肥育牛の供給量の増加を図る。 ・関係機関で構成する流通協議会が発足されたことから、今後、消費拡大、販路拡大プロジェクト活動等を展開していく必要がある。 ・家畜伝染病防止等の水際対策には、個々の意識付けが必要であるため、関係機関も含めた新たな連携の構築に取り組む。

今後の取り組み方針

- ・各農家へ優良繁殖母牛の1年1産を心がけ、発情牛の種付けを適期行い分娩間隔の短縮を図り出荷頭数の増加に取り組む。
- ・JAと和牛改良組合と連携を図り、購買者のニーズに合った素牛生産に取り組みめるよう、各農家へ飼養管理の徹底と指導、助言を行い、子牛販売価格の向上を図る。
- ・支援事業やSNS等の活用で石垣牛や石垣産の肥育牛を県外へ情報発信を強化することで、供給量の増加を図る。
- ・JAと肥育部会、流通協議会と連携し、石垣牛や石垣産の牛の価値向上を目指し、消費拡大と販路拡大を図り枝肉価格の増額に繋げる。
- ・家畜伝染病の万一の発生に備え、実効性のある地域防疫体制の確立を図るため、県をはじめJA、生産者団体、関係機関等と連携し家畜伝染病防疫演習等を行う。また生産農家、市民、観光客が自主的に意識して消毒を実施するよう周知を強化する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



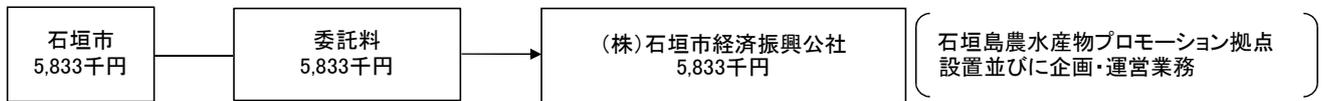
資金の 用途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先については、地方自治法施行令及び石垣市財務規則の規程に基づき、随意契約としており、また、補助交付については補助金交付対象を交付要綱にて定めており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○元々受益者負担があり、一部補助であるので、妥当であると考えられる。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名		石垣市					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-② 農水産物プロモーション事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(7)-ア		
	農林水産部 農政経済課		事業実施(予定)年度	平成27～令和2年度	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備		
担当部課名			沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-1-(6)		
事業内容	石垣島農産物の認知度向上のため、農水産物のPRや販売促進、生産地と消費地の交流等を展開する情報発信拠点施設(アンテナショップ)の運営を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	16,009	20,011	12,838	7,431	6,000
		(b) 予算現額	16,009	20,011	12,838	7,431	6,000
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	16,009	20,011	12,838	7,431	6,000
	B. 執行済額		15,702	19,868	12,598	7,326	5,833
	うち交付金充当額		12,561	15,894	10,078	5,860	4,665
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		98.1%	99.3%	98.1%	98.6%	97.2%
予算の状況の説明		事業計画どおり執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	石垣島農水産物情報発信拠点施設の設置及び運営企画	目標	(実施)	(実施)	(実施)	()	
		実績	実施	実施	実施		
			目標	()	()	()	()
		実績					
達成状況説明		・首都圏に拠点施設を設置し、石垣島産の食材を使用したメニューの開発及び石垣地域で食されている食事の販売を行った。 ・農水産物の情報発信に関するイベントを月一回のペースで実施し、合計9回、延べ45日間行った。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	情報発信拠点施設への来場者数2,500人以上	目標	()	(5,000人)	(3,000人)	(2,500人)	()
		実績		1,207人	1,934人	1,927人	
			目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明		・石垣島産の農水産物のPRや販売促進、生産地と消費地の交流等を図るため、拠点施設への来場者をより多くするため、プロモーション活動を実施したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、首都圏を中心に人流の減少等があったことから目標値に至ることができなかった。来場者の減少を抑えるため、出前も行ったが、同感染症の影響は大きく、利用者の増は伸び悩んだ。一方で、朝食に「ゆし豆腐定食」を提供したところ、利用者からは好評であった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・コロナ禍を踏まえ、宅配への取組みを継続するとともに、新たなメニューの開発等に取り組む必要がある。</p>	<p>・コロナ禍では、高価格帯商品の需要が高まっている傾向も見受けられることから、石垣島産牛肉を利用した新たな商品開発に取り組んでいく必要がある。併せて、石垣島産の有機大豆を利用した商品が好評であったことから、大豆をはじめとする島野菜を活用したヘルシーメニューの開発にも取り組む必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・石垣島産の農水産物の強みと弱みを把握し、亜熱帯気候の食材の特性等を十分に活かした新たな商品開発、情報発信及び宅配等を実施するとともに、原料となる「無農薬大豆」をはじめとする生産農家とのマッチングに取り組むこととする。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
5,833	5,833	4,665	1,168	0



資金の 使途の 流れ、 点検、 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託先については、企業組織、実績、知識等を勘察した上で、地方自治法施行令及び石垣市財務規則の規程に基づき、随意契約を締結し、妥当である。</p> <p>○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。</p> <p>○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-③ 生鮮水産物流通条件不利性解消事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(7)-イ			
	流通・販売・加工対策の強化							
担当部課名	農林水産部 水産課	事業実施（予定）年度	平成25～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(6)		
事業内容	本市の地理的不利性を解消し、生鮮水産物の島外出荷量を増加させるため、空路輸送費が陸路輸送費並みとなるよう支援を行う。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度（ 年度）							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,322	1,321	1,321	1,321	1,321	1,337
		(b) 予算現額	1,322	1,321	1,321	1,321	1,321	1,337
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額	—	—	—	—	—	—
	A. 計 (b+d)		1,322	1,321	1,321	1,321	1,321	1,337
	B. 執行済額		1,212	1,273	1,317	1,321	1,337	
	うち交付金充当額		969	1,018	1,052	1,056	1,069	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率（%）(B/A)		91.7%	96.4%	99.7%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		事業計画どおり執行した。						
活動目標（指標）及び達成状況	R2活動目標（指標）		達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	生鮮水産物の空路輸送（沖縄本島）に対する補助	目標	（ 実施 ）	（ 実施 ）	（ 実施 ）	（ 実施 ）		
		実績	完了	完了	完了	完了		
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実績						
達成状況説明	・沖縄本島までの出荷量125,808kgに対して、輸送費が陸路並みとなるよう支援を行った。							
成果目標（指標）及び進捗状況	R2成果目標（指標）		基準値（年度）	R1年度	R2年度	R3年度	目標値（年度）	
	生鮮水産物の沖縄本島への出荷量：130トン以上	目標	（ ）	（ 120トン ）	（ 130トン ）	（ ）	（ ）	
		実績		125トン	125トン			
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績						
	進捗状況説明	・沖縄本島への出荷量については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による航空便の減便等があり、目標値には至らなかったものの、前年度と同等量の125トンを維持することができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 出荷量に関しては、航空機の減便等の影響が当面の間、続くことが考えられ、供給の多くが島内消費に向かうと供給過多になり魚価が低下し、生産量の低下を招き、漁業者経営に大きな影響を与える。 	<ul style="list-style-type: none"> 出荷量が減少することは、生産量の低下、ひいては漁業者への影響に繋がることからも、水産物の需要喚起等、引き続き、関係機関との連携を強化する必要がある。

今後の取り組み方針

・水産物にかかる市場動向の把握などを通じて、出荷量の向上及び輸送支援の取組を行うと共に、島内消費の活性化、島内での販路拡大への取組を行うことで生産量の向上を図り、漁業者経営の安定化へ繋げる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,337	1,337	1,069	268	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は補助金交付対象を交付要綱に定めており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○元々受益者負担があり、一部補助であるので、妥当であると考えられる。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名		石垣市					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-④ 水産振興事業		沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(7)-イ		
	担当部課名	農林水産部 水産課		事業実施（予定）年度 平成24～令和3年度		流通・販売・加工対策の強化	
		沖繩振興基本方針該当箇所		Ⅲ-1-(6)			
事業内容	沖繩ミーバイの生産量の増加を促進するため、沖繩ミーバイ種苗を沖繩本島の栽培漁業センターから石垣島まで輸送する費用の補助を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度（R4年度）						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,632		1,451	1,451	706
		(b) 予算現額	1,632		564	680	466
		(c) 増減額 (b-a)	0		▲ 887	▲ 771	▲ 240
		(d) 繰越額	—		—	—	—
		A. 計 (b+d)	1,632		564	680	466
	B. 執行済額		1,632		564	680	465
	うち交付金充当額		1,305		450	543	371
	次年度繰越額		0		0	0	0
	執行率（%）(B/A)		100.0%		100.0%	100.0%	99.8%
予算の状況の説明		減額については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、生産者における種苗購入の控え及び輸送に係る使用タンクが減少となったことに伴う事業費減額である。					
活動目標（指標）及び達成状況	R2活動目標（指標）		達成状況				
			H28年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	沖繩ミーバイ種苗の輸送費支援（種苗輸送数57,000尾）	目標	（ 沖繩ミーバイの種苗輸送支援 ）	（ 輸送支援の実施 ）	（ 輸送支援の実施 ）	（ 57,000尾 ）	
		実績	沖繩ミーバイの種苗輸送支援	実施	実施	38,500尾	
			目標	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績					
達成状況説明		・沖繩ミーバイ養殖の種苗輸送は養殖漁業の経営安定化を図るため、石垣市～沖繩本島本部町にある栽培漁業センター間の沖繩ミーバイの種苗輸送支援を実施した。種苗の輸送数については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、出荷めどが立たない状況等もあり、種苗要望数の減少により目標の輸送数を下回った。					
成果目標（指標）及び進捗状況	R2成果目標（指標）		基準値（年度）	R2年度	R3年度	R4年度	目標値（R4年度）
	沖繩ミーバイ種苗の輸送費支援完了	目標	（ ）	（ 完了 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		完了			
	【R4成果目標】 沖繩ミーバイ出荷量：8,550尾以上		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ 8,550尾 ）
			実績				
進捗状況説明		・輸送支援については、要望があった種苗はすべて実施することができたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、沖繩ミーバイの需要が低下し、種苗の配布数自体が減少することとなった。一方で、出荷量に関しては、新たな需要として学校給食での活用や沖繩ミーバイを活用した各商品の販促活動に取り組んだことにより、8,359尾と微減にとどめた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響で、主な出荷先である居酒屋等の需要が低下し、新たな種苗要望数が減少してしまったため、育成期間(1年半~2年)を考えると、今後の出荷量増加を見込むことは難しいが、将来的な出荷増にむけて社会情勢の影響を受けないような体制を整えたい。 新たな販路拡大として学校給食での活用や加工商品の販促活動で出荷量は微減にとどめる事が出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> 出荷先が絞られると社会情勢の影響で需要の低下を受けやすいため、販路を多様化する必要がある。 今回行った学校給食での活用や加工商品販売は、いざずれも加工する過程が生じるため大量の需要があった場合、加工作業に時間を要する。そのため鮮魚のまま出荷できるような販路も必要である。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 販路の多様化について八重山漁協及び生産者と意見交換を行う。 今後も学校給食での活用や加工商品の販売が継続的に出来ないか多方面から検討していく。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
465	465	371	94	0



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は補助金交付対象を交付要綱に定めており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○元々受益者負担があり、一部補助であるので、妥当であると考えられる。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名		石垣市					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-⑤ 石垣島産マグロ類販売力強化事業		沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(7)-イ		
	流通・販売・加工対策の強化		事業実施（予定）年度		平成30～令和2年度		
担当部署名	農林水産部 水産課		沖繩振興基本方針該当箇所		Ⅲ-1-(6)		
事業内容	島内漁業の振興を図るため、流通関係者及び生産者とマグロ漁法毎による評価の相違や課題を抽出し、石垣島産マグロの商品価値、評価向上にむけた、情報発信及び販売促進活動を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度（R3年度）						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,749	3,330	2,420		
		(b) 予算現額	3,749	3,278	2,420		
		(c) 増減額 (b-a)	0	▲ 52	0		
		(d) 繰越額	—	—	—		
	A. 計 (b+d)		3,749	3,278	2,420		
	B. 執行済額		3,721	3,278	2,321		
	うち交付金充当額		2,977	2,622	1,856		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率（%）(B/A)		99.3%	100.0%	95.9%		
予算の状況の説明		事業計画どおり実施した。					
活動目標（指標）及び達成状況	R2活動目標（指標）		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	鮮魚店、流通関係者及び生産者による意見交換会	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
	石垣産マグロのPR活動	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
	島内ホテル関係者によるマグロ流通に関する勉強会	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
	市内飲食店、鮮魚店販促企画	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
達成状況説明		<ul style="list-style-type: none"> 生産者、流通関係者によるマグロ類販売に係る課題について意見交換を行った。 市内飲食店や鮮魚店等に石垣島産マグロのポスターやチラシを配布しPR活動を行った。 市内リゾートホテル関係者と生産者、漁協による、島内でのマグロ流通に関する意見交換を行った。 市内ホテル2社でマグロフェアを展開し、マグロを提供して販促活動につなげた。 					
成果目標（指標）及び進捗状況	R2成果目標（指標）		基準値（年度）	H30年度	R1年度	R2年度	目標値（R2、3年度）
	石垣島産マグロの販売力強化支援業務完了	目標	()	(完了)	(完了)	(完了)	()
		実績		完了	完了	完了	
	【R2成果目標】 地元セリにおけるマグロ類平均セリ単価：760円/kg		目標	()	()	(760円)	(760円)
			実績			534円	
	【R3成果目標】 令和3年度の沖縄本島の市場におけるキハダマグロの平均単価に対する八重山漁協セリ単価の割合：77%以上		目標	()	()	()	(77%)
		実績					
進捗状況説明		<ul style="list-style-type: none"> 石垣島産マグロの販売力強化支援については、市内ホテルにおいて期間限定のマグロフェア等のイベントが展開されたほか、コロナ禍による巣ごもり需要などもあって、市内鮮魚店ではマグロ類の需要の高まりが見受けられ、販売力の向上に効果が見受けられた。 地元セリにおけるマグロ類の平均セリ単価については、534円/kgとなり、目標達成には至っていない。 					

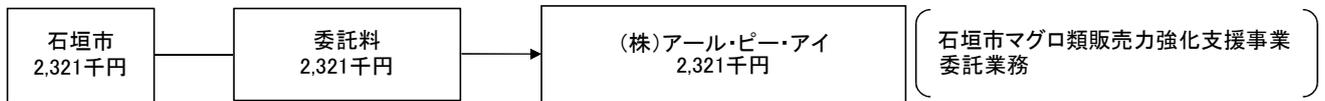
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・島産マグロの販売力強化に繋げるためには、市民をはじめ観光客等に対して石垣島がマグロの産地であることのPRに取り組む必要がある。 ・セリ単価に関して、マグロの流通体制については、島内におけるホテルや飲食店、鮮魚店などの流通体制は十分整っているが、一方で、悪天候時や漁況都合により十分な供給量が確保できないといった状況や、あるいは大漁時の供給過多などによって、セリ単価が変動、安定しないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・島産マグロをPRするため、情報発信及びホテル等におけるイベント等を継続していく必要がある。 ・島産マグロの安定供給を図るため、需要と供給を把握しつつ、必要な体制及び環境を構築していく必要がある。

今後の取り組み方針

- ・石垣島を「マグロの街」にするため、情報発信及び市内のホテルや飲食店、鮮魚等におけるPRイベントについて検討し、各種PR活動を展開していくこととする。
- ・セリ単価の向上に繋げるため、ブランディングを高めていくとともに、安定供給に資する設備の整備などに取り組むこととする。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,321	2,321	1,856	465	0



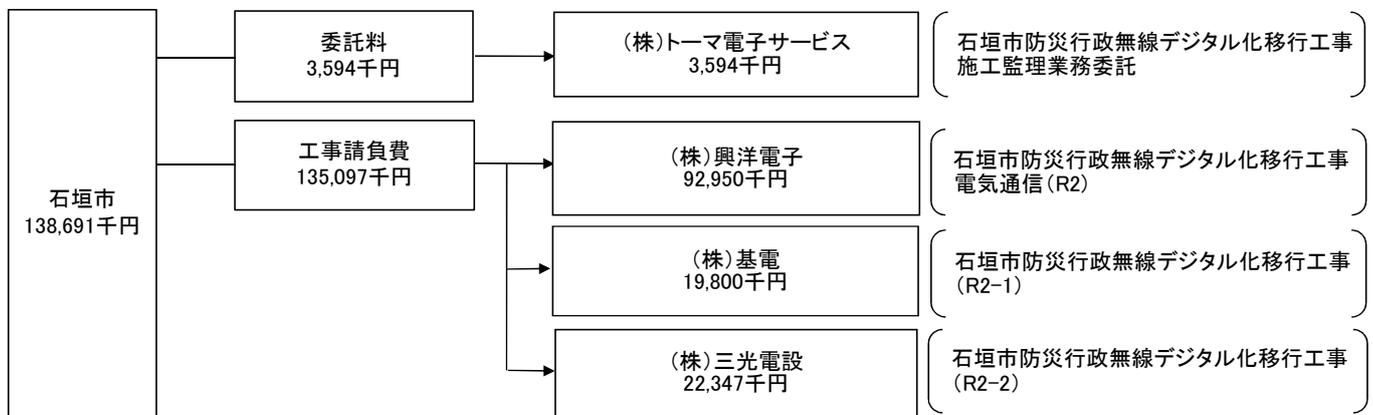
資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争入札により選定しており、妥当である。 ○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市									
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	5-① 防災体制整備事業		沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-2-(4)-イ						
	担当部署名	総務部 防災危機管理課		事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	災害に強い県土づくりと防災体制の強化					
				沖繩振興基本方針該当箇所	Ⅲ-10-(2)						
事業内容											
災害時の市民や観光客等の安全を確保するため、令和4年度に無線アナログ放送が終了する防災行政無線設備のデジタル化移行工事を実施し、災害時の情報提供の確保や住民の避難、災害応急対応等の諸活動の円滑化を推進するための仕組みを整備する。											
効果発現年度											
<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R3年度)											
実施方法											
<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()											
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度		H30年度		R1年度		R1年度(繰越)		R2年度	
		(a) 当初予算額	17,050		4,000		149,518		-		142,219
	(b) 予算現額	29,925		6,000		149,518		-		141,329	
	(c) 増減額(b-a)	12,875		2,000		0		-		▲ 890	
	(d) 繰越額	-		-		-		85,455		-	
	A. 計(b+d)	29,925		6,000		149,518		85,455		141,329	
	B. 執行済額	29,762		5,658		55,176		85,455		138,691	
	うち交付金充当額	23,809		4,525		44,140		68,364		110,952	
	次年度繰越額	0		0		85,455		-		0	
	執行率(%) (B/A)	99.5%		94.3%		36.9%		100.0%		98.1%	
予算の状況の説明											
補正については、入札残による事業費減額である。											
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況								
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度					
	防災行政無線設備デジタル化移行工事の実施(17基)	目標	(実施)	(実施)	()	()					
		実績	実施	実施							
		目標	()	()	()	()					
		実績									
達成状況説明											
・令和元年度の整備工事に引き続き、令和2年度に17基の防災行政無線設備の整備を実施した。これにより、整備対象34基の整備を完了することができた。											
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R3年度)				
	防災行政無線設備デジタル化移行工事の完了(17基)	目標	()	(完了)	(完了)	()	()				
		実績		完了	完了						
	【R3成果目標】 平時の防災無線放送が確実に伝達されたか(100%)を、防災行政無線等を活用した避難訓練への参加者に対するアンケートで検証	目標	()	()	()	()	(100%)				
		実績									
進捗状況説明											
・令和2年度に全整備対象を完了した。令和2年度事業で整備した設備は、令和3年2月から順次稼働しており、沿岸部をカバーできる体制を構築することができた。											

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・防災情報の発信については、防災行政無線設備の整備完了により、沿岸部での情報伝達が整ったことから、今後はよりきめ細かい情報の伝達について重点を置き取り組む必要がある。	・きめ細かい情報の伝達に関しては、各地域の意見や実情を踏まえて、自主防災組織の体制構築への支援や防災人材等の育成、避難に時間を要する要援護者等へ配慮した支援体制づくりに取り組む。
	今後の取り組み方針	
<p>・自主防災組織への支援、防災人材の育成、要援護者等への支援などの体制を構築し、整備した防災行政無線設備を活用し、地域の防災力の向上に取り組む。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
138,691	138,691	110,952	27,739	0



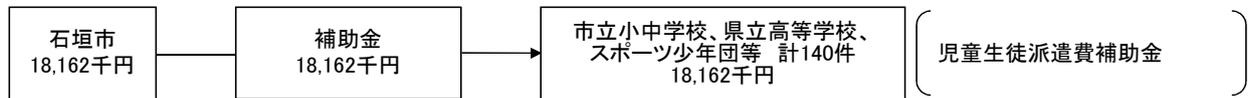
資金の流 れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は指名競争入札で選定しており、妥当である。 ○予算規模は必要最小限での構造・規格となっており、妥当と考えている。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-① 児童・生徒派遣費助成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(11)-イ		
	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上		沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-3-(1)		
担当部署名	教育部 教育総務課		事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度			
事業内容	島外で開催される大会等により多くの児童生徒が出場の機会を得ることができるよう、大会への参加の際に生じる負担軽減策として、市外・県外で開催される大会等及び選抜選手による合同練習に参加する児童生徒及びその指導者等に対し、航空運賃等の補助を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	38,500	42,450	42,770	44,450	44,650
		(b) 予算現額	38,500	42,450	42,770	44,450	26,568
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	▲ 18,082
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		38,500	42,450	42,770	44,450	26,568
	B. 執行済額		38,499	42,435	42,448	43,491	18,162
	うち交付金充当額		30,799	33,948	33,958	34,792	14,529
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	99.2%	97.8%	68.4%
予算の状況の説明		補正については、当初予定されていた大会等が新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止等となったことに伴う事業費減額である。 不用については、同感染症拡大の影響が続いたことに伴う補助の執行残である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	県内外大会等派遣児童生徒支援	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	・県内又は県外で開催される大会等に派遣された児童生徒に補助金を支給し、保護者の経済的負担軽減を図った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	申請した保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたとの回答割合80%以上	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		100%	98%	100%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	・保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたという回答について、目標である80%に対し100%の回答を得ることができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため大会が中止または延期になった場合、渡航や宿泊のキャンセルをしなければならず、キャンセル料の負担が生じる。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、大会が中止または延期になった場合の渡航や、宿泊キャンセル料の補助など、保護者負担軽減のために検証を行う必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大会等が中止または延期した場合に生じる、渡航費及び宿泊費キャンセル料金等の把握に努め、保護者負担の軽減について検討を進めることとする。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
18,162	18,162	14,529	3,633	0



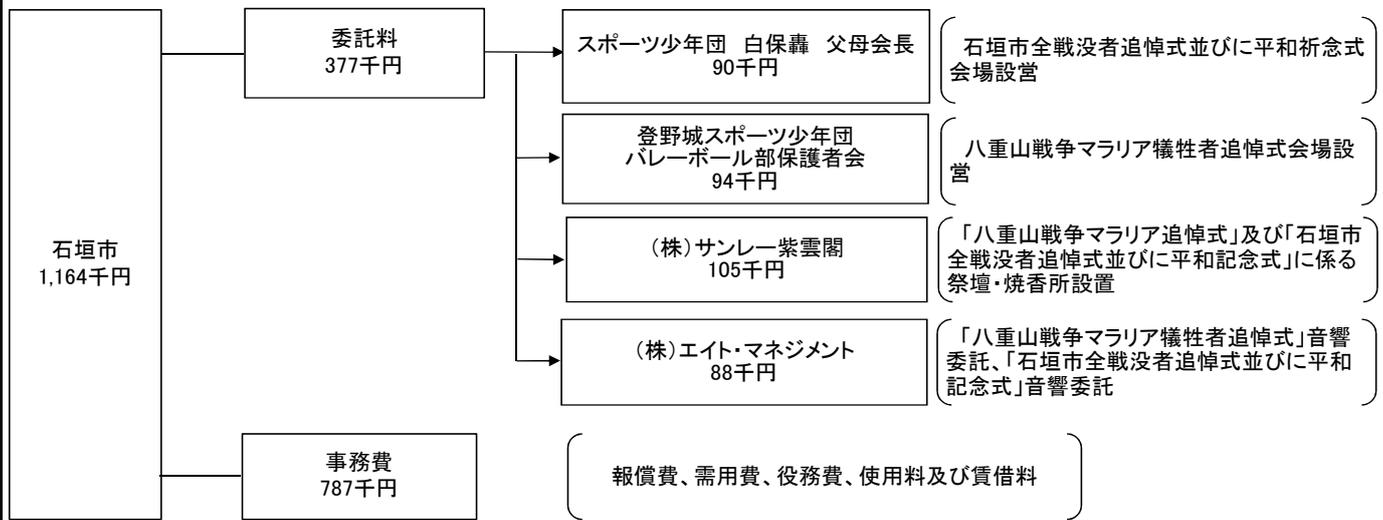
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出先は補助金交付対象を交付要綱に定めており、妥当である。 ○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。 ○受益者との負担関係については、市は渡航費並びに楽器等輸送費の補助に上限を設けおり、これ以外の費用については受益者負担としていることから、妥当な補助内容であると考えられる。 ○費目・使途は事業目的に即し、必要最小限及び効果的に執行している。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	6-② 平和推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-4-(2)-ウ			
	市民保健部 平和協働推進課		事業実施(予定)年度 平成24~令和3年度		アジア・太平洋地域の安定と平和に資する平和人権協力外交の展開			
担当部署			沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-3-(1)			
事業内容	児童生徒を含め市民が平和の大切さに対する理解を深めるため、慰霊祭、平和フォーラム等を開催するとともに、児童生徒を対象として平和を考える作文及び絵画コンクールを実施する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)			2,626	3,020	2,853	2,777	2,660
				11,192	2,205	2,195	2,056	1,671
				8,566	▲ 815	▲ 658	▲ 721	▲ 989
				-	-	-	-	-
			11,192	2,205	2,195	2,056	1,671	
			10,636	1,938	2,038	1,998	1,164	
			8,508	1,550	1,630	1,597	930	
			0	0	0	0	0	
			95.0%	87.9%	92.8%	97.2%	69.7%	
予算の状況の説明		補正については、当初計画していた平和大使派遣が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、派遣を見送ることとなったことなどに伴う事業費減額である。 不用については、平和を考える絵画作文審査員に係る報償費、平和フォーラムの講師に係る旅費などの執行残等である。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	児童生徒を対象とした「平和を考える作文」「平和を考える絵画」コンクールの実施	目標	()	(実施)	(実施)	(実施)		
		実績		実施	実施	実施		
	慰霊祭、平和フォーラム等の開催	目標	(開催)	(開催)	(開催)	(開催)		
実績		開催	開催	開催	開催			
達成状況説明	・児童生徒を対象とした「平和を考える作文」「平和を考える絵画」コンクールを開催し、作文6点絵画7点の応募があった。新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い新学期開始が5月中旬となったため、広報の方法を工夫したものの、応募数が減少した。 ・慰霊祭、平和フォーラム等については、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、大幅な縮小開催となったが「八重山戦争マリア犠牲者追悼式」「石垣市全戦没者追悼式並びに平和祈念式」を開催することができた。また、平和フォーラムに関しても、事前に撮影をしてDVDを配布するといった開催方法の変更はあったが、児童生徒に平和について考える機会をつくることができた。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	平和に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、コンクールや催事に参加した児童生徒を対象としたアンケートにより本事業の在り方について検証する	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()	
		実績		90%	90%	93%		
	慰霊祭及び平和フォーラム等への参加者並びに絵画・作文コンクールへの応募者数延べ740名以上	目標	()	(700人)	(700人)	(740人)	()	
		実績		700人	700人	1,173人		
進捗状況説明	・アンケートを行ったところ、平和に対する理解が深まった割合が93%となり、目標を達成することができた。平和フォーラムDVDの、戦争体験者の話に対する反響が大きかった。 ・慰霊祭及び平和フォーラム等への参加者並びに絵画・作文コンクールへの応募者数の目標を達成することができ、戦争の悲惨さや平和の尊さなどを考える機会をつくることができた。							

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 戦争体験者が高齢化し、少なくなってきた中で、直接話を聞く機会がなくなってきた。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、多くの人に呼びかけて開催することが難しくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 戦争体験者だけでなく、伝承活動を行っている方などに依頼し、戦争体験を継承していけるように検討する。 集客しての開催だけでなく、多くの人が参加できるような開催方法を検討する。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 各関係機関と連携し、戦争体験者だけでなく伝承者などにも講話を行ってもらい、継続して戦争の悲惨さや平和の尊さへの理解を深めていけるよう取り組む。 開催方法を工夫し、多くの人が参加できるように取り組む。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,164	1,164	930	234	0



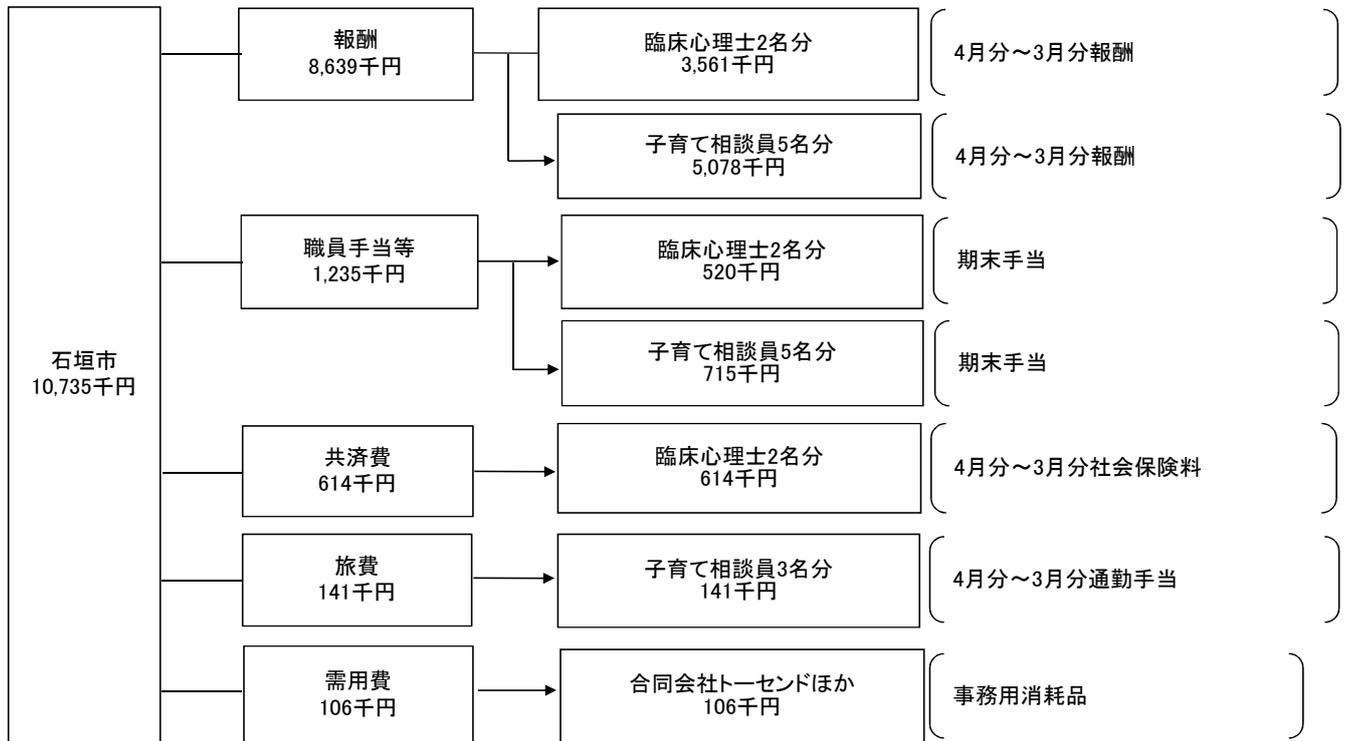
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、複数の業者から見積書を徴収し、より安価な業者を選定したもので妥当であったと考えられる。 ○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。 ○費目・使途は事業目的に即し、必要最小限及び効果的に執行している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-④ 気になる子のすこやかな学び支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-5-(3)-ア		
	担当部課名	福祉部子ども未来局 子育て支援課 教育部 学校教育課		事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度	確かな学力を身につける教育の推進	
				沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)		
事業内容							
子育ての孤立化や心身の発達に配慮が必要な幼児児童生徒を抱える保護者の不安軽減を図るため、臨床心理士、子育て相談員を雇用し、必要に応じて各保育所・幼稚園や学校、関係機関に派遣し、教育相談や子育て相談等を行う。							
効果発現年度							
■当年度 □後年度(年度)							
実施方法							
■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	予算の状況	(a)当初予算額	12,941	14,360	12,531	12,745	14,472
		(b)予算現額	11,177	9,049	8,753	11,940	11,829
		(c)増減額(b-a)	▲1,764	▲5,311	▲3,778	▲805	▲2,643
		(d)繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		11,177	9,049	8,753	11,940	11,829
	B. 執行済額		8,829	8,312	8,449	11,352	10,735
	うち交付金充当額		7,062	6,649	6,759	9,081	8,587
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		79.0%	91.9%	96.5%	95.1%	90.8%
予算の状況の説明		補正については、臨床心理士2名のうち1名の退職に伴う人件費、講師招聘等に係る旅費の減額である。不用については、臨床心理士1名にかかる人件費等の執行残である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	臨床心理士2人配置	目標	(2人)	(2人)	(2人)	(2人)	
		実績	1人	1人	2人	1人	
	子育て相談員5人配置	目標	()	(5人)	(5人)	(5人)	
		実績		5人	5人	5人	
達成状況説明		<ul style="list-style-type: none"> 臨床心理士を学校や関係機関に派遣し、児童生徒の行動観察及び面談等を踏まえ、保護者、教員及び児童生徒等に対して、特性に応じた助言や支援を実施した。 市内5園に子育て相談員を配置し、保護者や教員への相談対応及び特性に応じた支援を実施した。 					
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	臨床心理士等への相談により育児・発達等に対する不安が軽減されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業の在り方について検証	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		100%	98%	100%	
			目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明		<ul style="list-style-type: none"> (臨床心理士) 臨床心理士への相談により不安が軽減されたかを含めた保護者アンケートからは、相談してとても良かった等、肯定的な意見が100%となり、非常に高い満足度となっていることが確認できた。 (子育て相談員) 全保護者を対象にリーフレットやアンケートを配布し、事業の周知徹底を図ることにより、保護者の負担軽減に繋げることができた。 					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(臨床心理士) ・学校生活だけに留まらず、家庭環境等における相談内容も増加している。 ・社会生活の変化に伴い、様々な案件により専門的立場のニーズの高まりが見受けられる。 ・臨床心理士の確保に課題がある。	(臨床心理士) ・今後も、学校、関係機関との連携のもと、子どもと家庭(保護者)への相談実施及び、学校への助言等を適宜行っていく必要がある。 ・本事業の内容を校長研等、研修会において広く周知して行く。 ・臨床心理士の、業務内容の精査及び効率化を検討していく必要がある。
	(子育て相談員) ・保育施設についても巡回相談や心理検査が増加していることから、幼児、児童生徒への支援について苦慮している保護者、教員が増えているものと見受けられる。	(子育て相談員) ・気になる子への早期の支援にあたるため、巡回相談、心理検査等の計画的な実施を図るとともに、継続的に相談者に対する支援を実施する必要がある。
今後の取り組み方針		
(臨床心理士、子育て相談員共通) ・相談内容に応じた適切な支援の実施及び計画的かつ円滑な支援体制を図るため、業務内容の改善点等の把握及び乳幼児期からの早期支援の体制構築に取り組む。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
10,735	10,735	8,587	2,148	0



資金の用途の流れ、評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○会計年度任用職員(臨床心理士、子育て相談員)については、石垣市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等に基づき、任用しており妥当である。 ○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。 ○費目、用途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即した必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-⑤ 「学ぶ意欲・わかる授業」を推進する事業		沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-5-(3)-ア		
	担当部課名	教育部 学校教育課		事業実施(予定)年度 平成24~令和3年度		確かな学力を身につける教育の推進	
				沖繩振興基本方針該当箇所		Ⅲ-3-(1)	
事業内容							
児童生徒の学力の向上を図るため、学校教育支援員を配置し、授業中の学習支援や放課後、長期休業中の補習指導を実施する。外国語学習支援員を配置し、授業づくりの支援や教材の提示、担任及び教科担当と協同授業を行う。本市の喫緊の課題である「児童生徒の学力向上」を目的とし、学力先進地域より講師を招聘し、教員を対象とした研修会を開催する。							
効果発現年度							
<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法							
<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	103,872	97,251	97,741	97,364	109,701
		(b) 予算現額	102,969	96,662	96,138	83,873	106,309
		(c) 増減額(b-a)	▲ 903	▲ 589	▲ 1,603	▲ 13,491	▲ 3,392
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		102,969	96,662	96,138	83,873	106,309
	B. 執行済額		100,863	95,342	95,183	82,744	105,591
	うち交付金充当額		80,690	76,273	76,082	66,194	84,472
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		98.0%	98.6%	99.0%	98.7%	99.3%
予算の状況の説明		補正については、学校教育支援員および外国語学習支援員に係る人件費、講師招聘等に係る旅費の減額である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	授業時並びに放課後学習支援(学校教育支援員配置数32名)	目標	(33名)	(32名)	(32名)	(32名)	
		実績	33名	32名	26名	31名	
	外国語活動と英語指導支援(外国語学習支援員配置数:小学校4名、中学校2名)	目標	(小学校3名 中学校2名)	(小学校4名 中学校2名)	(小学校4名 中学校2名)	(小学校4名 中学校2名)	
		実績	小学校3名 中学校1名	小学校4名 中学校2名	小学校4名 中学校2名	小学校4名 中学校2名	
学力先進地域交流招聘実施(学力先進地域交流研修会:招聘3名)	目標	()	()	(3名)	(3名)		
	実績			1名	0名		
達成状況説明		・学校教育支援員を配置することで、学級担任や教科担任と連携し、児童生徒に対する学習支援を複数人体制で行うことができた。 ・学校教育支援員を活用した補習指導や学習会等を実施することができた。 ・小中学校へ外国語学習支援員を派遣することで、授業等におけるコミュニケーション活動の充実を図る支援ができた。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	沖縄県到達度調査の全体平均正答率:小学校60%以上、中学校50%以上	目標	()	(小学校60%以上 中学校50%以上)	(小学校60%以上 中学校50%以上)	(小学校60%以上 中学校50%以上)	()
		実績		小学校59% 中学校45%	小学校58.0% 中学校49.1%	小学校56.2% 中学校46.1%	
	英語への興味・関心が向上したと回答をした児童生徒の割合(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより本事業の在り方を検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		87%	81%	72%	
進捗状況説明		・沖縄県到達度調査は、小学校5学年(国・算)、小学校6学年(国・算)の平均正答率は56.2%、中学校1学年(国・数・英)と中学校2学年(国・数・英)の正答率は46.1%と目標数値に達しなかった。学年・教科別に見ても、小学校5学年(算)と中学校1学年(数)以外は、昨年度より正答率が減少している。本結果より、学級担任や教科担任等と連携した個別支援の更なる強化が必要である。 ・児童生徒の英語への興味・関心については、小中学校長に「外国語学習支援員勤務評定調査書」を依頼し、外国語に対する学習意欲の向上を4段階(A,B,C,D)で評価した。A評価は72%と目標数値に達しなかった。B評価が28%と全体として肯定的な評価ではあるが、学級担任や教科担任等との効果的なチームティーチングの在り方についての検討が必要である。					

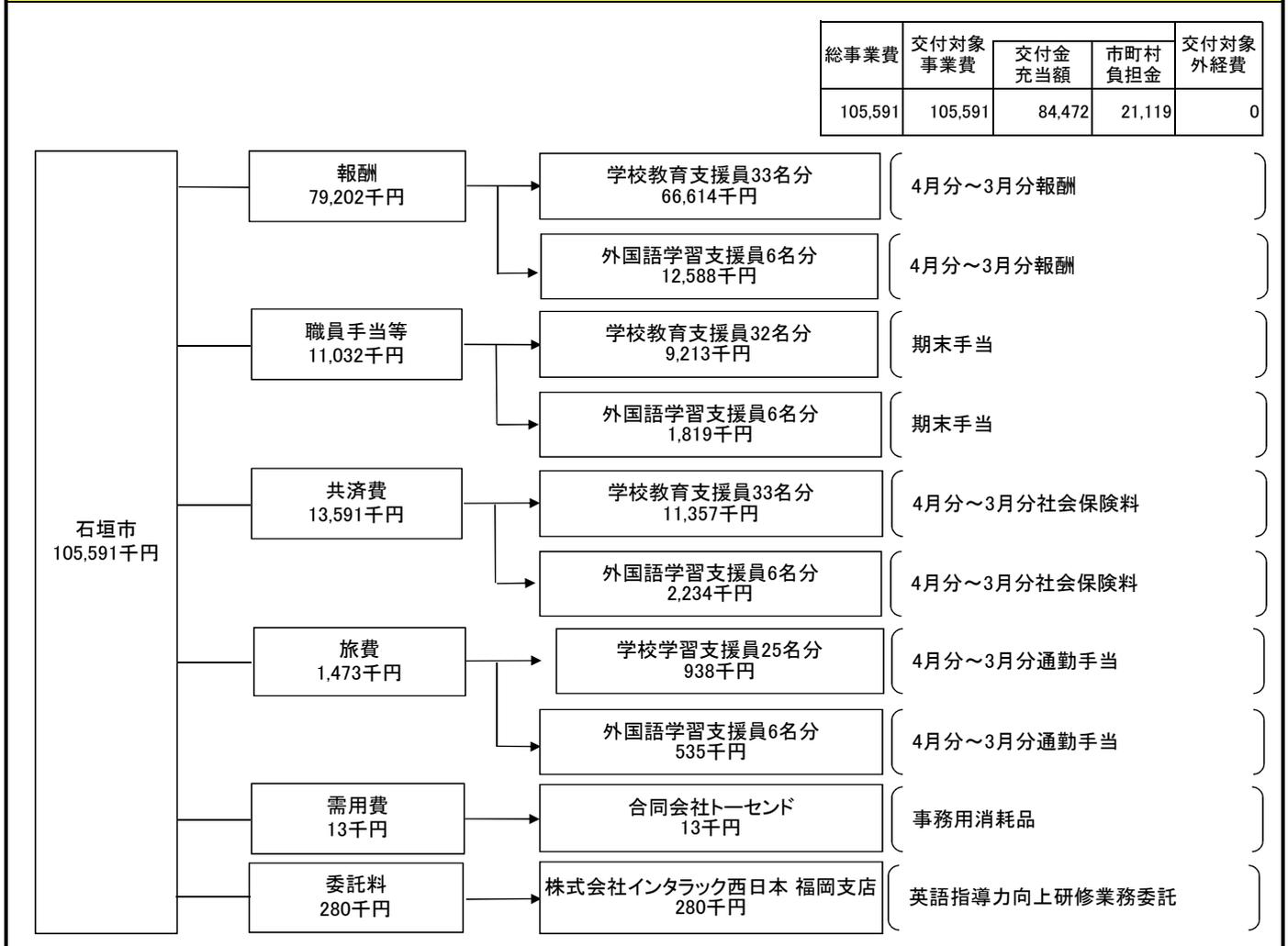
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(沖縄県到達度調査) ・学習に遅れがちな児童生徒への支援は、学校教育支援員の配置だけでは対応できていないという現状がある。	(沖縄県到達度調査) ・授業や補習等において、支援が必要な児童生徒に対し重点的に支援を行うとともに、学校教育支援員の資質向上と支援改善の充実を図るために、適切な指導助言を行う。併せて、教員の授業力向上に資するための研修会の実施、授業に関する指導、助言を実施する。
	(英語に対する児童生徒の興味・関心) ・月1回の外国語学習支援員ミーティングや外部専門業者に委託した研修会の実施により、外国語学習支援員の授業力の向上は図られているものの、引き続き、目標値達成に向けて、授業力の向上に取り組む必要がある。	(英語に対する児童生徒の興味・関心) 小中学校長に対して行った「外国語学習支援員勤務評価調査書」において、肯定的な意見は100%であったものの、A評価が対前年度と比較して下がったことを踏まえ、学級担任や教科担任との連携、外国語学習支援員の資質向上、改善を図る必要がある。

今後の取り組み方針

(沖縄県到達度調査)
・学校教育支援員研修会(4月、12月)を実施し、資質の向上と支援改善の充実に取り組む。

(英語に対する児童生徒の興味・関心)
・外国語学習支援員研修会(4月)を実施するほか、支援員によるミーティング等を通じた支援方法の確認及び情報共有を行うとともに、より効果的な授業を実施するため、教職員等との事前打ち合わせ等を実施し、体制強化に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

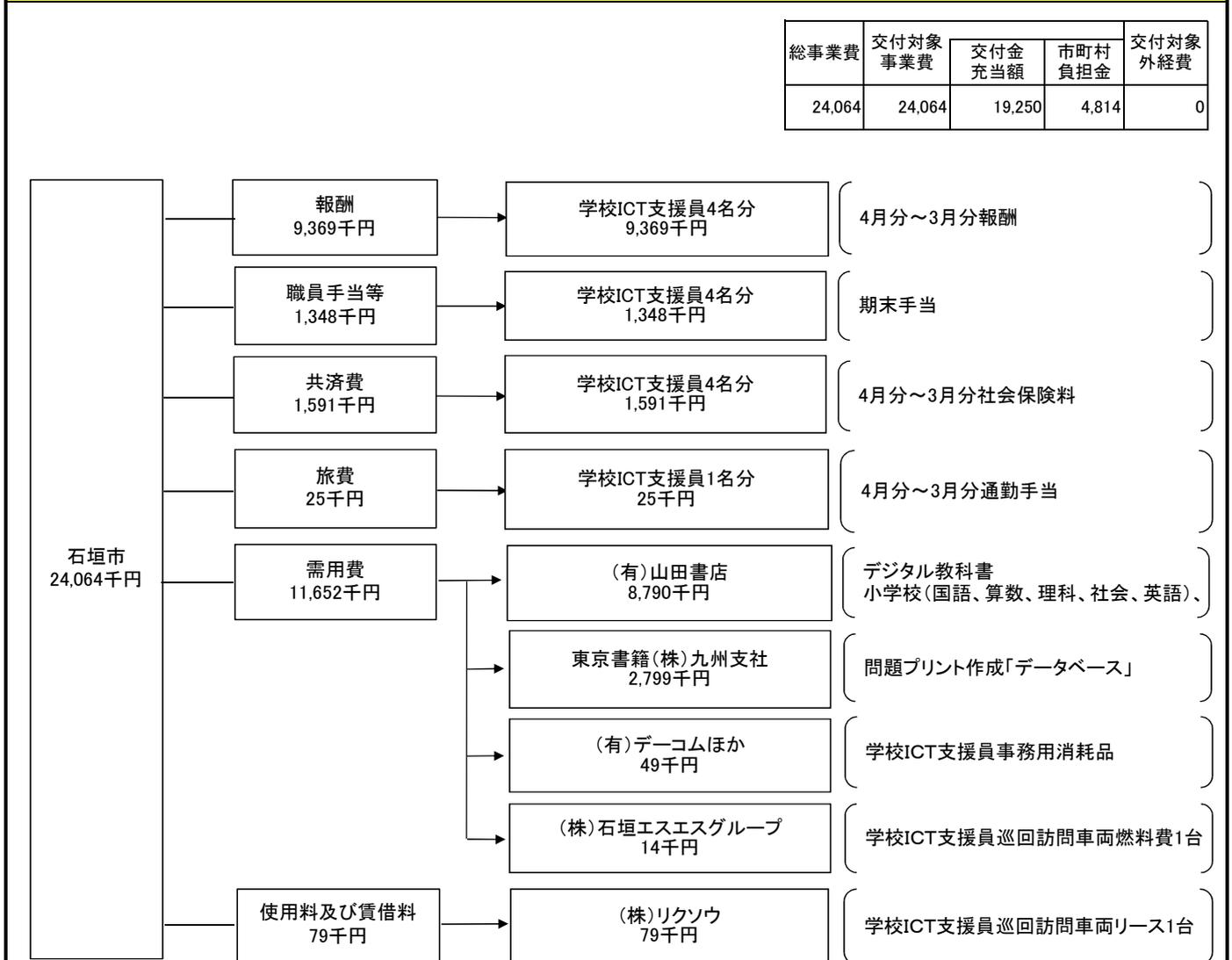


資金の流れの点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○会計年度任用職員(学校教育支援員、外国語学習支援員)については、石垣市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等に基づき、任用しており妥当である。 ○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。 ○費目、用途については、精算段階で検査を行っており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-⑥ 情報教育充実事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-5-(4)-ア		
	国際社会、情報社会に対応した教育の推進		沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-3-(1)		
担当部課名	教育部 学校教育課		事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度			
事業内容	ICT機器を使用した分かりやすい授業を実施するため、学校ICT支援員を配置するとともに、ICT機器やデジタル教材の整備、情報教育セキュリティサーバーの導入並びに教職員への研修会等を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	35,531	59,875	16,436	32,530	24,857
		(b) 予算現額	35,531	54,821	14,889	31,801	24,447
		(c) 増減額(b-a)	0	▲ 5,054	▲ 1,547	▲ 729	▲ 410
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		35,531	54,821	14,889	31,801	24,447
	B. 執行済額		22,090	53,764	14,378	31,792	24,064
	うち交付金充当額		17,672	43,011	11,502	25,432	19,250
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		62.2%	98.1%	96.6%	100.0%	98.4%
予算の状況の説明		補正については、学習プリント作成問題データベース並びに学校ICT支援員にかかる人件費等の執行残である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	学校ICT支援員の配置:4名	目標	(4名)	(4名)	(4名)	()	
		実績	4名	4名	4名		
	教職員研修会の実施(定期研修会7回/年)	目標	(7回)	(7回)	(7回)	()	
		実績	7回	7回	5回		
達成状況説明	・学校ICT支援員の配置については、目標どおり4名配置。各校への計画的な訪問支援のほか、要請に応じた支援を引き続き実施した。 ・教職員を対象としたICT活用研修については、年間7回開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の見地等から、5回の開催となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	ICT機器を活用した分かりやすい授業が実施されたか(80%以上)を含め、児童生徒に対するアンケートにより本事業のあり方を検証	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		88.50%	88.50%	88%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	・ICT機器を活用した授業が、児童生徒にとって分かりやすいものであるかについてのアンケート調査(小学校4年生ならびに中学校1年生を対象としたサンプル調査)を実施した結果、小学校で86%、中学校で90%(平均88%)の肯定的回答を得た。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器を活用した授業が、児童生徒にとって分かりやすいものであるかについてのアンケート調査(小4と中1を対象としたサンプル調査)で、小学校87%、中学校で91%の肯定的回答を得られたことは、学校ICT支援員による学校現場に対する支援の積み重ねが、教職員の機器活用に対する知識や技術、意欲の向上に着実につながれていると考える。 小学校に続き、中学校においてもプログラミングが必修化となったことに伴い、授業における取り組みについて、これまで以上に学校現場に対してICT活用の推進に関する情報提供等を含めた支援を行っていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケートにおける「ICT機器を使って発表したい」という問いに対する児童生徒からの肯定的回答の割合が、前年度は小学校75%、中学校59%であったが、令和2年度は小学校69%(6%減)、中学校67%(8%増)となり、中学校において改善が見られた一方、小学校においては対前年比で減となっている。小学4年と中学1年を対象としたアンケートであることから、中学1年についてはこれまでの取組が効果を上げてきているものの、小学4年については小学1～3年児童へのICT機器活用を含めた支援を行う必要があると考えられるため、学校現場と学校ICT支援員とが連携し、機器操作を始めとした授業支援等を通して、児童のICT活用への意欲向上につなげられるように検討を行う必要がある。また、指導主事からの指導・助言を得ながら、授業改善や教材研究の効率化を引き続き図っていく必要がある。 プログラミングの必修化から、引き続き、中学校への情報提供や必要な支援を進めていく必要がある。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> 学校ICT支援員による巡回訪問、各種研修を通じた教材作成等の支援、遠隔交流授業やプログラミング、タブレットを活用した授業等の支援を継続して取り組んでいく(上記「改善余地の検証」にのっとり小学1～3年に対する支援を充実させられるよう、学校に対して情報提供を含めた授業支援等も行っていく。) ICT機器を活用した授業の改善及び効率化等につなげるため、教職員研修会をこれまで以上の回数で開催していくこととする。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○会計年度任用職員(学校ICT支援員)については、石垣市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等に基づき、任用しており妥当である。また、デジタル教科書及び問題データベースについては、本市が採用する教科書内容に沿い、かつ他事業者で取扱いが無いことに加え、市価に比較して著しく有利な価格で調達できることによるものである。 ○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施し、目的に即した必要のものであったと判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-⑦ 専門人材育成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-5-(3)-ア		
	確かな学力を身につける教育の推進		沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-3-(1)		
担当部署名	教育部 学校教育課		事業実施(予定)年度	平成28～令和3年度			
事業内容	本市の教育を担う人材の育成を図るため、教員採用試験対策講座を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	14,216	15,054	7,873	3,271	3,067
		(b) 予算現額	10,355	9,018	3,648	2,282	2,275
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 3,861	▲ 6,036	▲ 4,225	▲ 989	▲ 792
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計 (b+d)		10,355	9,018	3,648	2,282	2,275
	B. 執行済額		7,846	7,121	2,588	2,114	1,863
	うち交付金充当額		6,277	5,696	2,070	1,690	1,489
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率 (%) (B/A)		75.8%	79.0%	70.9%	92.6%	81.9%
予算の状況の説明		補正については、対策講座業務委託の執行残見込みに伴う事業費減額である。 不用については、対策講座業務委託の精算に伴う執行残である。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	一般、教職教養、専門教科試験対策講座の開催	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	・沖縄本島での専門事業者による対策講座(一般・教職教養、専門教科)を42日、自学ゼミを119日(うちミニ講義は72日)の開催した。新型コロナウイルス感染症対策等により、沖縄本島からの講師派遣の見合わせや講座時間を短縮することもあったが、講義資料の配付等で適宜対応した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	小学校での教員採用試験合格者数:9人以上	目標	()	(前期10人)	(前期10人)	(前期9人)	()
		実績		前期8人	前期7人	前期7人	
	中学校での教員採用試験合格者数:4人以上	目標	()	(前期4人)	(前期5人)	(前期4人)	()
		実績		前期7人	前期7人	前期10人	
受講することで有効な試験対策ができたか(80%以上)を含め、受講者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	()	()	()	(80%)	()	
実績					97%		
進捗状況説明	・小学校合格者数は目標に達しなかったものの、同事業を実施した当初から合格者を安定して生み出している。中学校等の合格者数は目標を大きく上回る成果を得た。事業の継続により、今後も合格者の増加が期待できる。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・受講者からのアンケートでは全体的に高い評価を受けているが、現在実施していない他の専門教科講座に対応することで、講義内容の新しさや専門性を改善できると考えられる。</p> <p>専門教科講座については、令和2年度前期の専門講座は、受講生が希望する全ての教科に対応していたが、受講者数の少ない場合における採算性の問題から、令和2年度後期は小学校専門教科講座のみの開講であった。</p>	<p>・受託する専門業者に、受講者の希望や石垣市の実状を把握してもらい、受講者の希望に対応できる改善策を検討する。また、新たな受託者を探すため広く募集を続ける。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>・教員採用試験の傾向や専門教科に関して、引き続き、調査研究を行い、より多くの試験合格者に繋げられるよう、検討を進めることとする。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
1,863	1,863	1,489	374	0



資金の 使途の 流れ、 点検、 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先については、企業組織、実績、知識等を勘察した上で、地方自治法施行令及び石垣市財務規則の規程に基づき、随意契約を締結し、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即したものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-⑨ スポーツ教室・交流事業		令和元～令和3年度		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ	
	担当部課名	企画部 スポーツ交流課		事業実施(予定)年度	沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心とたくましい体を育む教育の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	児童生徒の視野を広げるため、トップアスリートとしての経験を有する優れた指導者による「スポーツ教室」を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,662	3,470			
		(b) 予算現額	2,533	593			
		(c) 増減額(b-a)	▲129	▲2,877			
		(d) 繰越額	-	-			
	A. 計(b+d)		2,533	593			
	B. 執行済額		892	377			
	うち交付金充当額		713	301			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		35.2%	63.6%			
予算の状況の説明		補正については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当初計画していた友好都市スポーツ交流活動を見送ることとなったことに伴う事業費減額である。 不用については、スポーツ教室にかかる講師等の旅費の執行残である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	トップアスリートによる講演、指導者講習会、スポーツ教室の実施		目標 (実施)	()	()	()	
			実績 実施				
		目標 ()	()	()	()		
		実績					
達成状況説明	・講演会、講習会、スポーツ教室については、当初、多種目による同時開催を行い、多くの市民が様々な種目にふれる機会の創出を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、一同開催を見合わせるようになったことから、従前と同じく、種目(卓球)での開催の運びとなった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	トップアスリートによる講演会、指導者育成講習会、スポーツ教室の参加者数:延べ320名以上		目標 ()	(800名)	(320名)	()	()
			実績	600名	195名		
	指導者講習会を通じて指導力の向上につながったか(80%以上)を含め、参加者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。		目標 ()	(80%)	(80%)	()	()
		実績	88%	88%			
進捗状況説明	・参加者数については、新型コロナウイルス感染症の影響により当初予定していた多種目での開催ではなく、1種目での開催となったため、達成に至らなかった。 ・指導者講習会を通じて指導力の向上につながったかについて、参加者へアンケートを行ったところ、26人の回答のうち、23名から能力の向上に繋がったとの回答があり目標値を達成した。同講習会については、世界一を経験しているトップアスリートなどから、直接、手ほどきを受けることができることから、指導力向上の目標値達成に繋がったものと考えられる。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・他の競技シーンにおいて、感染対策の徹底や規模を工夫するなどによって、有観客での試合などの開催が行われているものもある。 ・指導者講習会では、トップアスリートからの講習により、多くの有益な情報や技術向上に繋がることから、参加者からの期待も大きいところがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多種目の同時開催に関しては、各競技における新型コロナウイルス感染症予防にかかるガイドライン等を踏まえ、開催の手法について検討を行う必要がある。 ・今後も安定的に指導者講習会をはじめスポーツ教室を継続していく必要がある。

今後の取り組み方針

・スポーツ教室・講演会・指導者講習会については、招聘する選手の競技に沿った、各競技の新型コロナウイルス感染予防ガイドラインを実施するとともに、スポーツ教室や講演会の実施にあたる市独自のガイドラインを作成し、開催に向けて取り組みを行う。
 ・今後も催事を継続実施していくため、引き続き、各競技団体及びアスリートと緊密に連携を図ることとする。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
377	377	301	76	0



資金の用途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○講師については、知識・経験を考慮して選定しており、妥当である。 ○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。 ○費目・用途については、実施前に精査しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-① 不登校対策等支援員配置モデル事業		沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-5-(1)-ア		
	地域を大切に、誇りに思う健全な青少年の育成		沖繩振興基本方針該当箇所		Ⅲ-3-(1)		
担当部課名	教育部 いきいき学び課		事業実施(予定)年度	平成30～令和3年度			
事業内容	児童生徒の不登校の改善を図るため、スクールライフサポーターを学校に配置するとともに、学校と連携し、居場所づくりなど必要な支援策を講ずる。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,787	5,704	6,289		
		(b) 予算現額	5,787	5,592	6,409		
		(c) 増減額(b-a)	0	▲112	120		
		(d) 繰越額	-	-	-		
	A. 計(b+d)		5,787	5,592	6,409		
	B. 執行済額		5,393	5,496	6,331		
	うち交付金充当額		4,314	4,396	5,064		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		93.2%	98.3%	98.8%		
予算の状況の説明		補正については、スクールライフサポーターに係る人件費の増額等である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	スクールライフサポーターの配置:2名	目標	(2名)	(2名)	(2名)	()	
		実績	2名	2名	2名		
	学校生活支援、復学支援の実施	目標	()	()	(実施)	()	
		実績			実施		
達成状況説明	石垣市教育委員会教育部いきいき学び課青少年係(青少年センター)内にスクールライフサポーターを配置して、小学校と中学校に1名ずつ割り振った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	スクールサポーターを配置したモデル校の不登校率:小学校1.35%以下、中学校6.8%以下	目標	()	(0.81%以下 4.81%以下)	(1.31%以下 7.03%以下)	(1.35%以下 6.8%以下)	()
		実績		2.10% 6.70%	1.69% 4.34%	0.56% 4.28%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	スクールライフサポーターを配置した小学校では昨年度実績から1.13ポイント減の0.56%となり、目標の1.35%以下を達成した。中学校では0.06ポイントの減と横ばいとなり、目標6.8%以下は達成しているものの、下げ止まりとなっている。					

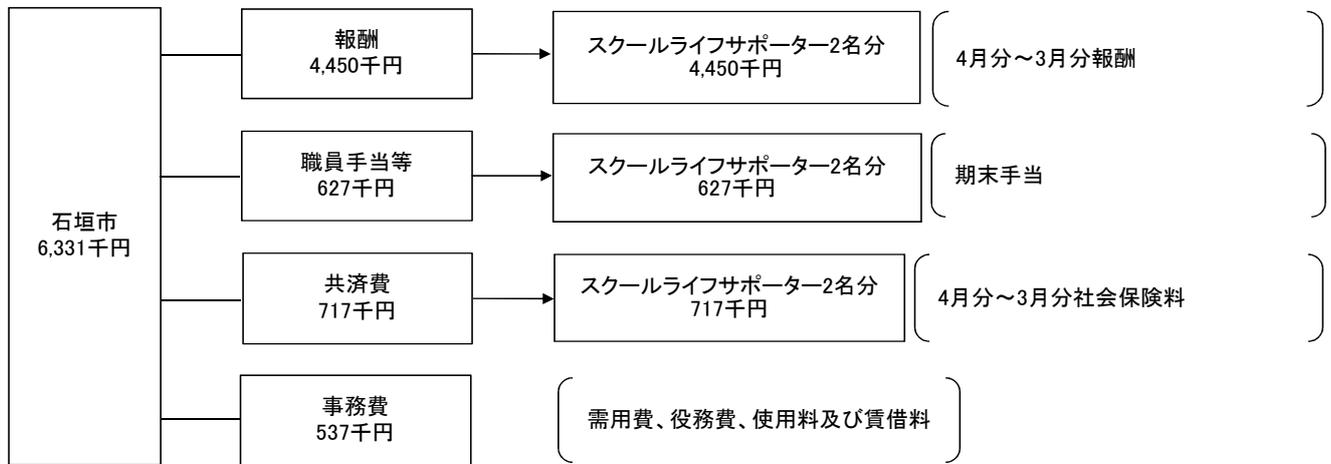
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・対象児童生徒の登校後の居場所が確保され、課題であった別室対応職員の確保についても、スクールライフサポーターと教職員間で問題の共有が計られ意識改善に繋がり、克服されつつある。また、家庭訪問をはじめとする保護者への寄添い等を継続実施することで、信頼関係が構築され、当初、送り出しに消極的であった保護者が積極的に送り出せるようになった。これらの対応が登校定着に繋がり、不登校率改善の大きな要因になったと考えられる。一方で、スクールライフサポーター配置中学校において、減少率が減少になり、下げ止まり傾向となっているため、更なる対策が必要と考えられる。</p>	<p>・複数の小学校から進級してくる中学校では、スクールライフサポーターを配置している小学校のみ成果を挙げても、他校の状況により、成果に繋げることは困難な状況があり、スクールライフサポーター配置により増加を抑えている現状があることから、スクールライフサポーター配置校の選定見直しを含め検討し、更なる不登校率改善に向けて取組む必要がある。</p>

今後の取り組み方針

・スクールライフサポーターを設置しているモデル小学校及び中学校において成果は出ているが、中学校の更なる低減を図る観点から、小学校への配置に軸を移し、早期からの不登校対応にあたることで、中学校へ進学後の不登校や登校しぶりの改善に繋げられると考えられることから、スクールライフサポーターの配置について、見直しを行うこととする。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,331	6,331	5,064	1,267	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○会計年度任用職員(スクールライフサポーター)については、石垣市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等に基づき、任用しており妥当である。</p> <p>○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。</p> <p>○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即したものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-⑫ 子ども若者総合相談支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-5-(1)-ア		
	地域を大切に、誇りに思う健全な青少年の育成		沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-3-(1)		
担当部課名	教育部 いきいき学び課		事業実施（予定）年度	令和元～令和3年度			
事業内容	社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども若者（不登校・引きこもり・ニート等）の困難の解消を図るため、子ども若者相談窓口を設置、対象者の相談業務を行うユースアドバイザーを配置し、相談受付及び支援を実施する。また、臨床心理士をスーパーバイザーとして委嘱し、ユースアドバイザーや支援に関わる関係者への指導、助言を行うスーパーバイズ、また支援対象者、保護者、関係者への個別相談を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度（ 年度）						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	12,135	12,729			
		(b) 予算現額	11,672	12,881			
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 463	152			
		(d) 繰越額	—	—			
	A. 計 (b+d)		11,672	12,881			
	B. 執行済額		11,549	12,452			
	うち交付金充当額		9,238	9,960			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率（%）(B/A)		98.9%	96.7%			
予算の状況の説明		補正については、ユースアドバイザーに係る人件費の増額等である。					
活動目標（指標）及び達成状況	R2活動目標（指標）		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	ユースアドバイザーの配置：4名	目標	（ 4人 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	4人				
	相談窓口の設置	目標	（ 設置 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	設置				
相談・支援業務の実施	目標	（ 実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
	実績	実施					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 石垣市教育委員会教育部いきいき学び課青少年係（青少年センター）内にユースアドバイザー4名を配置した。 臨床心理士をスーパーバイザーとして委嘱し、本市で社会生活を円滑に営むことが困難な子ども若者やその保護者、関係者に対して、4回の個別相談会を実施した。 委嘱されたスーパーバイザーから、ユースアドバイザーや教育関係者、関係機関の職員に対して、12回のスーパーバイズを活動目標にしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2回の中止があったことから、10回の実施となった。 						
成果目標（指標）及び進捗状況	R2成果目標（指標）		基準値（年度）	R2年度	R3年度	R4年度	目標値（年度）
	本事業で支援を受けた者の数30名以上	目標	（ ）	（ 30名 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		55名			
	支援を受けた者のうち、本事業の支援によって支援を要しない状態となった者の割合：27%以上	目標	（ ）	（ 27% ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		56%			
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ひきこもり実態調査アンケートを実施したことで、支援対象者の現状や要望などを把握できたほか、同アンケートの実施や各種周知等を通じて、支援が必要な者の掘り起こし及び適切な支援活動に繋げることができたものと考えられる。 対象者などに対する支援に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響なども踏まえ、SNSを活用した相談受付の試験運用、ならびにWeb形式による個別面談を実施したところ、試験運用では相談から支援に繋がる手段として有効であることが確認できたほか、面談においては、これまで対面面談に抵抗を示していた当事者と円滑な対面を図ることもできた。これらの取組みなどもあり、支援員において効率的かつよりきめ細かい支援を実施することが出来たことから、支援を要しない状態に繋げていくことができているものと見られる。 					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を必要とする者は、これまでの実態調査や広報などを通じて、本事業を知り、相談件数が増加しており、今後は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等もあって、社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども若者(不登校・引きこもり・ニート等)がさらに増加していく可能性もあると考えられる。 ・SNSを活用した支援の本格的な運用にあたっては、試験運用の内容等を検証していく必要がある。 ・対象者への支援では、自己肯定感の向上を図るため、個々の状況に応じた体験活動や職場体験等に取り組んだが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、規模を縮小しての実施となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援を必要とする者への支援が行き届くようにするため、引き続き、現状把握や広報活動等に取り組んでいく必要がある。 ・SNSの活用については、課題把握及び改善等の検討を行い、運用内容を整理していく必要がある。 ・支援の実施については、Withコロナを見据え、体験活動等の取組み内容を検証するとともに、様々な職種の受入企業の掘り起こしを行い、多様な職場体験ができる環境構築に取り組んでいく必要もある。

今後の取り組み方針

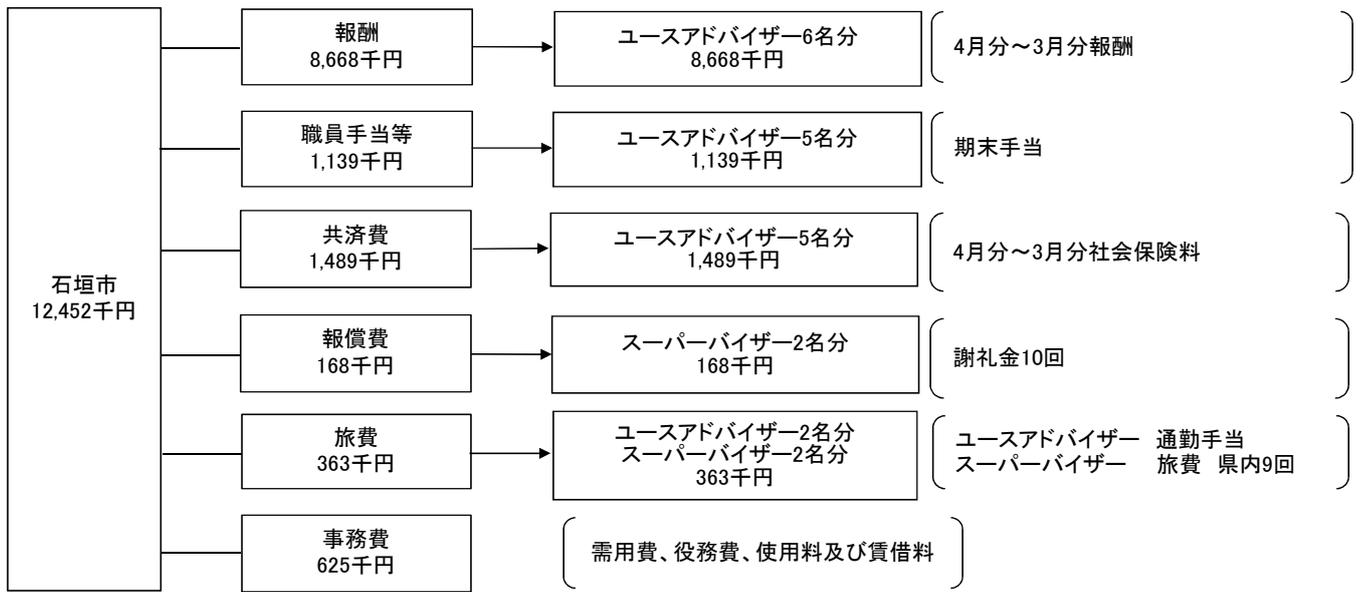
・支援を必要とする者について、引き続き、関係機関との連携を図るとともに、適宜、広報等を行うこととする。

・SNSを活用した支援の本格運用に向けて、検証を行うとともに、専門知識を有する講師による研修会や講習会を開催し、支援員のスキルアップに取り組むこととする。

・当事者の興味、関心の広がる個別的体験活動の実施、就労支援時に求められる受入先の更なる掘り起こし、必要な訓練などができる機会の創出など、各支援策の実施に取り組んでいくこととする。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
12,452	12,452	9,960	2,492	0



資金の流 点検・費目 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○会計年度任用職員(ユースアドバイザー)については、石垣市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等に基づき、任用しており妥当である。 ○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即したものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		石垣市						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	7-① 新石垣空港国際線旅客施設強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-エ			
	担当部課名	建設部 空港課	事業実施(予定)年度	平成27～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	八重山圏域の戦略的な国際観光拠点として、国際線旅客ターミナルを中型機対応施設として整備することにより、受入態勢の強化を図るため、施設の増改築に係る工事費の補助を行う。							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R4年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	1,977					
		(b)予算現額	32,730					
		(c)増減額(b-a)	30,753					
		(d)繰越額	-					
		A.計(b+d)	32,730					
	B.執行済額		32,430					
	うち交付金充当額		25,944					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		99.1%					
予算の状況の説明		補正については、補助事業者が実施する建築工事の進捗に応じた事業費増額である。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況					
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
	建築工事の一部実施の補助	目標	(実施)	()	()	()		
		実績	実施					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	・補助先である石垣空港ターミナル株式会社にて、工事に係る入札及び契約がなされ、石垣市及び沖縄県共同で工事への補助を行い、計画どおり、仮設ターミナル及び本体増改築に係る工事が実施された。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R4年度)	
	建築工事の一部実施の補助完了	目標	()	(完了)	()	()	()	
		実績		完了				
	【R4成果目標】 国際線旅客数 106,400人以上	目標	()	()	()	()	(106,400人)	
		実績						
	進捗状況説明	・国際線旅客ターミナルの増改築に係る工事に関しては、供用開始に向けて計画通り実施されていることから、令和3年度における工事の実施につなげることができている。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・令和4年度以降の国際線旅客数の増を図るため、施設の増改築に取り組んでいるところであるが、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大により、観光客数は激減しており、当面の間、影響はつづくものと考えられる。	・ウィズ、アフターコロナの時代を見据え、引き続き、工事の実施が行われるよう支援を行うとともに、海外からの観光客の増につなげるため、国内外に向けた石垣島のPRに取り組んでいく必要もある。

今後の取り組み方針

・施設の供用開始に向けて、計画通り整備工事が実施されるよう、引き続き、関係機関等と緊密な連携及び調整を行うとともに、供用開始後における観光客の増を図るため、様々な機会を通じて、石垣島の情報発信等に取り組んでいくこととする。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
32,430	32,430	25,944	6,486	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は補助金交付対象を交付要綱に定めており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業の目的及び内容から、適正な規模であったと判断できる。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○事業者負担があり、一部補助であることから、妥当であると考えられる。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。